Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1710/1510

設置ガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

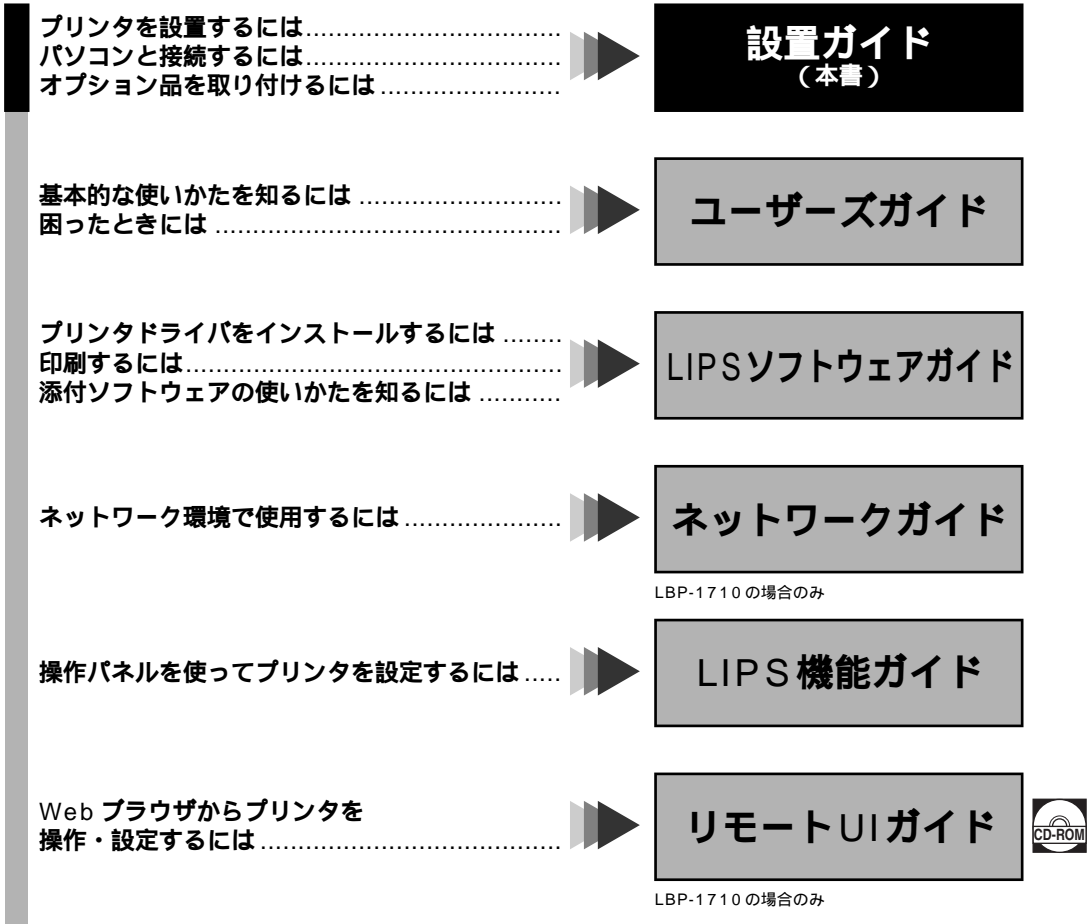
プリンタを設置するには……………………………
パソコンと接続するには……………………………
オプション品を取り付けるには……………………
→ **設置ガイド（本書）**

基本的な使いかたを知るには………………………
困ったときには………………………………………
→ **ユーザーズガイド**

プリンタドライバをインストールするには………
印刷するには…………………………………………
添付ソフトウェアの使いかたを知るには…………
→ **LIPSソフトウェアガイド**

ネットワーク環境で使用するには…………………
→ **ネットワークガイド**
LBP-1710の場合のみ

操作パネルを使ってプリンタを設定するには……
→ **LIPS機能ガイド**

Webブラウザからプリンタを
操作・設定するには…………………………………
→ **リモートUIガイド** CD-ROM
LBP-1710の場合のみ

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル
LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

● 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品と異なる場合があります。

このマークが付いている分冊は、付属のCD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

設置ガイドの構成について

1
2
3
4
5

● 設置サービスのご案内

本製品の設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合や、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本製品をお買い求めの販売店などへ依頼してください。

目次

第3章　オプションの取り付け

第4章　プリンタの動作と機能を確認する

第5章　付録

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 • **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**

注意 • **取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**

重要 • 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ • 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーの表記について

本書では、キー名称を以下のように表しています。

• 操作パネル上のキー .... [オンライン]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating systemをWindowsと表記しています。

LASER SHOT LBP-1710をLBP-1710と表記しています。

LASER SHOT LBP-1510をLBP-1510と表記しています。

キヤノンレーザーショット内蔵型プリントサーバNB-4FをプリントサーバNB-4Fと表記しています。

商標について

Canon、Canonロゴ、Flash Buddy、LBP、LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

LASER　SHOTは、キヤノン株式会社の登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Macintoshは、米国 Apple Computer, Inc.の商標です。

AT、IBM、PS/55シリーズは、米国International Business Machines Corporationの登録商標または商標です。

NetWare、Novellは、米国 Novell, Inc.の登録商標です。

HP、HP-GLは、米国Hewlett-Packard Companyの米国の商標です。

Ethernetは、米国Xerox Corporationの商標です。

NetHawkは新潟キヤノテック株式会社の商標です。

N5200シリーズ、PC-9800シリーズ、PC-PR201/80Aは、日本電気株式会社の商品名です。

ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

Unixは、X/Open Company, Ltd.が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

FM-Rシリーズは、富士通株式会社の商品名です。

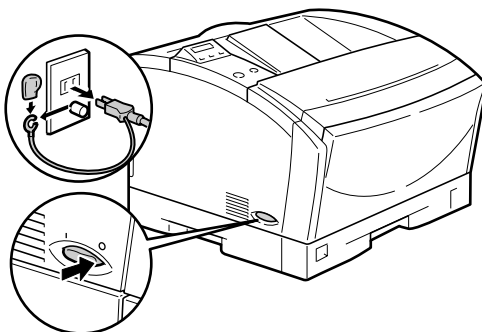
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

安全にお使いいただくために

設置について

⚠ 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に次のような物を置かないでください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。機器内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 機器には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると機器内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 機器を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 機器を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。機器を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→設置場所に運ぶ：P.2-3 ）
- 機器を設置する場合は、機器と床面、機器と機器の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、機器の故障や感電の原因になることがあります。

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V15A以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

注意

- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

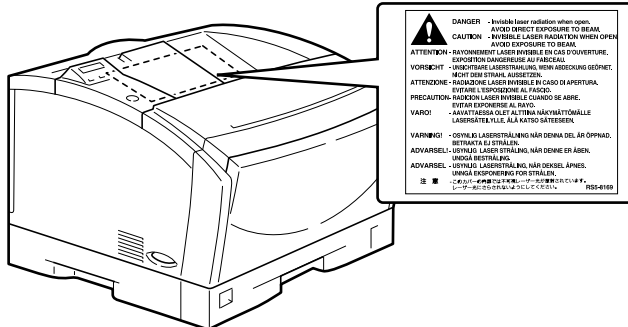
警告

- 機器を分解したり、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、機械内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。

- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが機器内部の電気部品等に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 機器内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機器内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが機器内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源スイッチを入れた状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源スイッチを入れた状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

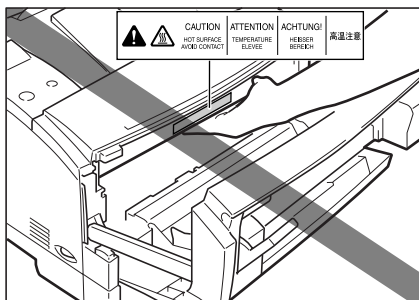
- 機器の上に重い物を置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 万一、本製品のハードディスクに不具合が発生した場合、登録・保存したデータが消失することがあります。重要なデータを登録・保存される場合にはオリジナルのデータは、必ず消さずに保管してください。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切ってください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となることがあります。

保守／点検について

警告

- 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で汚れを落とした後、から拭きしてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機器内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- 電源プラグは年１回以上電源コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。
- 機器内部の定着ユニット周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着ユニット周辺には触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気の近くに保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もし、カートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下の原稿を読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ **著作物など**

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ **通貨、有価証券など**

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ **公文書など**

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

1

CHAPTER

設置する前に

ここでは、本プリンタに装着可能なオプション品の紹介と取り付け手順、設置場所の決めかたについて説明しています。

オプションについて

本プリンタの機能をフルに生かしてお使いいただくために、次のようなオプション品が用意されています。必要に応じてお買い求めください。

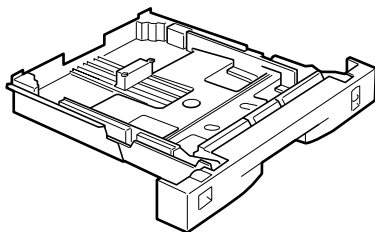
給紙カセット

給紙カセットは、250枚用のユニバーサルタイプです。給紙カセットには、普通紙（64～90g/m²）とラベル用紙（A4）をセットできます。

普通紙は次のサイズの用紙がセットできます。

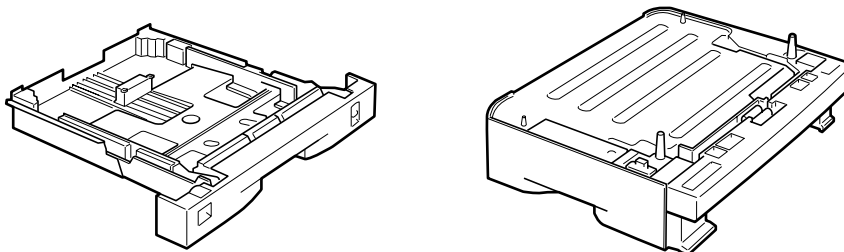
A3（297mm × 420mm）、B4（257mm × 364mm）、A4（297mm × 210mm）、A4R（210mm× 297mm）、B5（257mm× 182mm）、A5（210mm× 148.5mm）レジャー（279.4mm × 431.8mm）、リーガル（215.9mm × 355.6mm）、レター（279.4mm × 215.9mm）、エグゼクティブ（267mm × 184mm）（A4は、横置きが標準です。）

■ **ユニバーサルカセット UC-65**

標準のカセットおよび250枚ペーパーフィーダで使用できる給紙カセットです。定形サイズの普通紙（64g/m²）を最大約 250 枚までセットできます。また、ラベル用紙をセットすることもできます。

ペーパーフィーダ

オプションの給紙カセットは、プリンタ本体の底面に取り付けます。最大3つまで取り付けることができます。

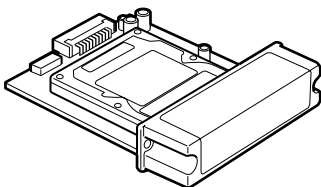
■ **ペーパーフィーダユニット PF-65**

250枚ペーパーフィーダと給紙カセットのセットです。定形サイズの普通紙（64g/m^2）を最大約250枚までセットできます。また、ラベル用紙をセットすることもできます。

メモ

- ペーパーフィーダは、必ず本プリンタ用のペーパーフィーダ（PF-65）をご使用ください。他の機種用のペーパーフィーダを使用することはできません。
- ペーパーフィーダの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（→P.3-2）をご覧ください。
- 本プリンタに250枚ペーパーフィーダを3段取り付けた場合、カセット4から給紙するときは、印字速度がLBP-1710では16ppm（A4横）となります。
- ペーパーフィーダを4段以上取り付けることはできません。

ハードディスク（LBP-1710のみ）

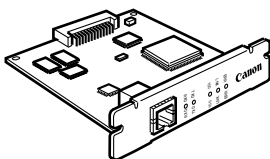
ハードディスクは、受信したプリントジョブを一時的に保存するためのプリンタ内蔵型ボードです。ハードディスクを装着することで、セキュアプリントや電子ソート機能（rip once（リップワンス）機能）を利用できるようになります。

■ 内蔵ハードディスクユニットHD-8

重要
- ハードディスク使用時は、16MB以上の拡張RAMの増設が必要です。また、rip once（リップワンス）機能を使用する場合は、32MB以上の拡張RAMの増設が必要です。併せて取り付けてください。
- ハードディスクを使用するときは、セットアップメニューの「ジョブタイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15ビョウ」に設定することをおすすめします。

メモ
- ハードディスクの取り付けかたについては、「ハードディスク（LBP-1710のみ）」（→ P.3-25）をご覧ください。

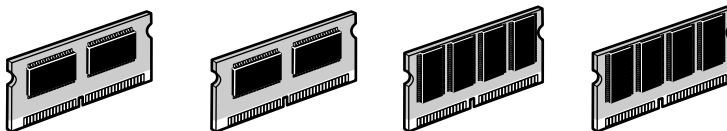
プリントサーバ

プリントサーバは、本プリンタをLANに接続するためのプリンタ内蔵型ネットワークボードです。IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalkに対応したものがあり、NetWare®、Windows、Macintosh、UNIX、イントラネットなど幅広いLANシステムに対応可能です。プリントサーバにより、対応プロトコルが異なります。また、それぞれ専用のネットワークプリンタ管理ソフトが添付されています。

■ 例）キヤノン製プリントサーバNB-4F

重要
- 従来機用のプリントサーバ（5V用プリントサーバ）は、使用できません。必ず本プリンタの3.3V用拡張インタフェース（LIOスロット V2）に対応したプリントサーバを使用してください。
- 本プリンタに対応していないプリントサーバを誤って使用した場合は、正しく動作しません。

メモ
- プリントサーバの取り付けかたについては、「プリントサーバ」（→ P.3-18）をご覧ください。

拡張RAM

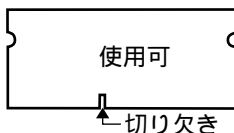
メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは8MBのメモリを標準装備しています。拡張RAMは1個増設可能で、本プリンタのメモリ総容量を136MBまで拡張することができます。

拡張 RAMには、16MB（RD-16MS）、32MB（RD-32MS）、64MB（RD-64MS）、128MB（RD-128MS）の４種類のボードがあります。

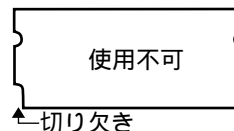
拡張RAM	取り付け後の容量	印字保証サイズ
16MB	24MB	A3×2
32MB	40MB	A3×4
64MB	72MB	B4×8
128MB	136MB	A3×8

上記の印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツユウセン」、「解像度」を「ファイン」、「階調処理」を「ヒョウジュン」、「フォームキャッシュメモリ」を「ツカワナイ」、「ハードディスク」を「ツカワナイ」に設定した場合の値です。

メモ

- 拡張RAMは、必ず本プリンタに対応したSDRAM DIMMをご使用ください。キヤノン製拡張RAM（RD-16MS、RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS）のご使用をおすすめします。

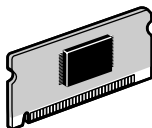
本プリンタ用SDRAM DIMM（3.3V）

- 従来の3.3V拡張RAM（RD-8ML、RD-16ML、RD-32ML）は、使用できません。
- 従来の5V拡張RAM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

従来のRAM DIMM（3.3V、5V）

- 拡張RAMの取り付けについては「RAM/ROM」（→P.3-10）をご覧ください。

コントロールROM（LBP-1710のみ）

エミュレーションモードを追加するためのROMです。本プリンタを、お使いのパソコンに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1枚のコントロールROMに、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。本プリンタには、コントロールROMまたはフラッシュメモリのいずれか1個を増設可能です。

- PC-PR201/80Aプリンタ拡張版
- ESC/P準拠プリンタ拡張版
- IBM 5577プリンタエミュレーション
- 富士通 FMPR-359プリンタエミュレーション
- NEC N5273プリンタエミュレーション
- HP-7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション
- バーコードフォントROM（FR-BFV2CL相当）

製品名　CR-MES

メモ

- コントロールROMは、必ず本プリンタに対応したもの（CR-MES）をご使用ください。

本プリンタ用ROM DIMM（3.3V）

- 従来の3.3VコントロールROM（CR-5577L、CR-359L、CR-5273L、CR-7550L、CR-201L、CR-ESL、CR-MEL）は、使用できません。

従来のROM DIMM（3.3V）

- 従来の5VコントロールROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

従来のROM DIMM（5V）

- コントロールROMの取り付けについては、「RAM/ROM」（→P.3-10）をご覧ください。

フラッシュメモリ（LBP-1710のみ）

オーバレイ、マクロなどをダウンロードするためのメモリ（ROM）です。

重要 • フラッシュメモリに関しては、発売未定です。

プログラマーズマニュアル

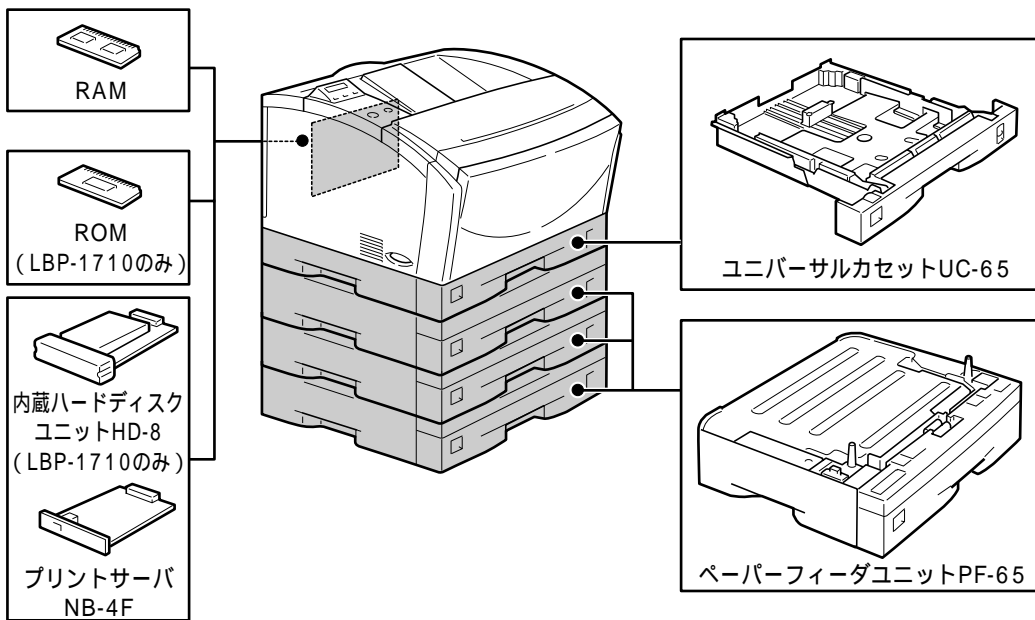
本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。次の3種類が用意されています。

製品名

プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」
（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）
プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」
（LIPSコマンドの手引き）
プログラマーズマニュアル「クックブック4.2」
（プログラムサンプル集）

設置手順について

本プリンタは、装着するオプションによって、設置する手順が異なります。お買い求めになったオプションの内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

オプションの取り付け位置

設置の手順

1 （オプション）
250 枚ペーパーフィーダの設置（→ P.3-2）

2 **プリンタ本体の設置（→ P.2-3）**

3 **トナーカートリッジのセット（→ P.2-9）**

4 **用紙のセット（→P.2-15）**

5 （オプション）
ハードディスクの取り付け（→P.3-25）
RAM/ROMの増設（→ P.3-10）
プリントサーバの取り付け（→P.3-18）

6 **本体とパソコンの接続（→P.2-20）**

7 **電源コード、アースコードの接続（→ P.2-31）**

メモ
- お客様の設置状況に合わせて、該当する手順にそって作業を進めてください。オプション品を装備しない場合は（オプション）と表記された手順は読みとばしてください。

設置環境

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、十分なスペースが確保でき、風通しがよく平坦で水平な、プリンタ重量に耐えられる十分な強度のある場所を選んで設置してください。

重要
- 本プリンタを設置する前に「⚠安全にお使いいただくために」（→ P. vii）を必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

電源

最大消費電力は、LBP-1710 の場合は 850W* 以下、LBP-1510 の場合は 830W* 以下（AC100V ± 10%,50/60Hz ± 2Hz）です。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因となることがあります。電源を取るときは、次のような点にご注意ください。

・必ず 15A以上の電源コンセントから、プリンタの電源をお取りください。

・一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。

・パソコン本体の補助電源コンセントから電源を取らないでください。

・複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じ電源コンセントから電源を取らないでください。

お使いの電源について不明な場合は、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。
＊注：フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

温度湿度

温度、湿度が以下の範囲内の場所でご使用ください。

周囲温度：7.5 ～ 32.5 ℃

周囲湿度：5 ～ 90％RH（結露のないこと）

本プリンタのある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低いところから高いところへ移動した場合、プリンタ内部に水滴が生じる（結露現象）ことがあります。このような場合、本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、2時間以上放置してからご使用ください。

プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起り、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また、「5F-nn サービスコール」というメッセージが

表示され、プリント処理が停止してしまうことがあります。詳しくは、「メッセージが表示されたときは」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。

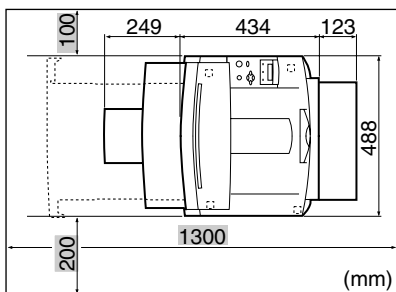
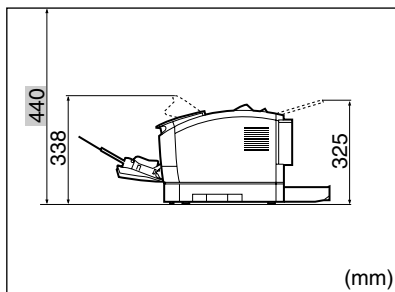
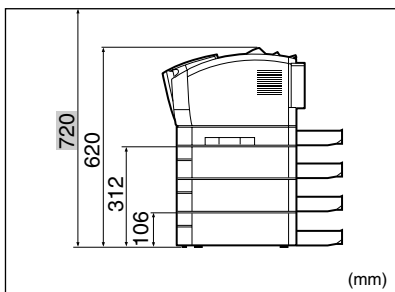
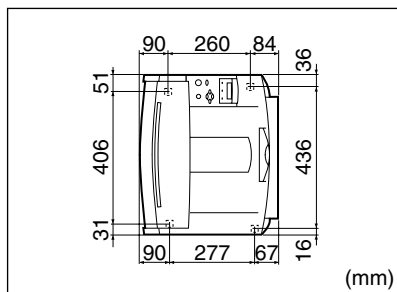
● 超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んでください。

各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

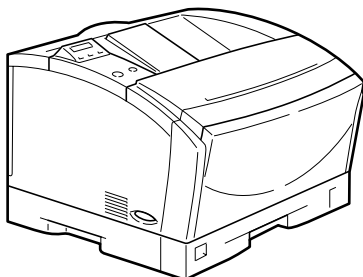
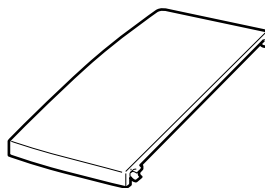
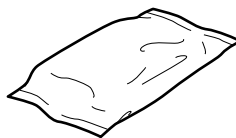
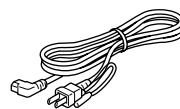
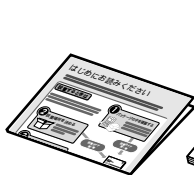
周囲に必要な寸法（標準仕様）

横から見た図（標準仕様）

横から見た図（250枚給紙カセット３段仕様）

足の位置

メモ
- ゴム足の高さは5mm、先端は18mm ×18mmの正方形です。

2 CHAPTER

プリンタの設置

ここでは、本プリンタをパッケージから取り出して設置するまでの手順について説明しています。オプション品を同時に装着する場合は、第３章と併せてお読みください。

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください。

メモ
- 本プリンタにはインタフェースケーブルは付属されていません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

設置場所に運ぶ

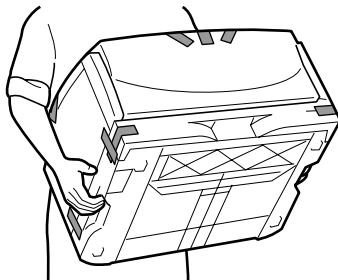
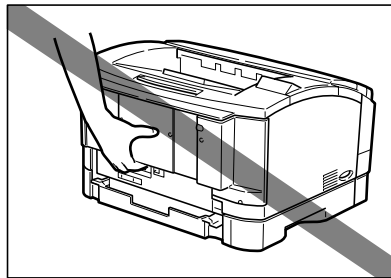
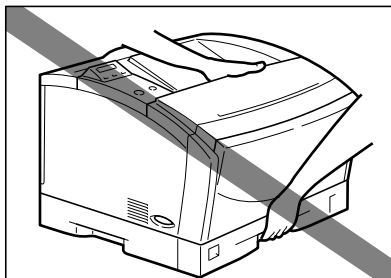
設置場所が確保できたら、本プリンタをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

重要
- オプションの 250 枚ペーパーフィーダを取り付けるときは、プリンタ本体をパッケージから取り出す前に、250 枚ペーパーフィーダを設置場所に設置してください。250 枚ペーパーフィーダの設置方法については、「ペーパーフィーダ」（→ P.3-2）をご覧ください。

1 プリンタ本体をパッケージから取り出します。

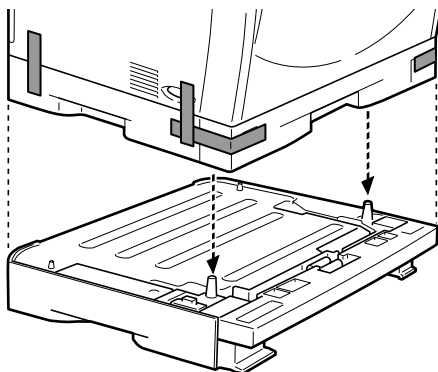
重要
- プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

2 プリンタ本体を設置場所へ運びます。

図のように本体両側面下部の運搬用取っ手に手を掛けて、持ち運んでください。

注意
- **絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。**

重要
- 給紙カセットや給紙カセットを止めてあるテープは付けたまま持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損する原因になります。
- 本プリンタは、約15kg（本体：約13.5kg／給紙カセット：約1.5kg）あります。十分に注意して持ち運んでください。

3 設置場所にゆっくりとおろします。

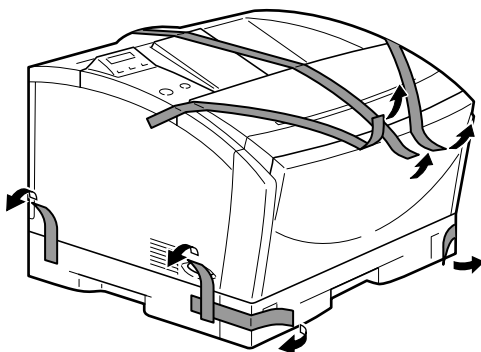
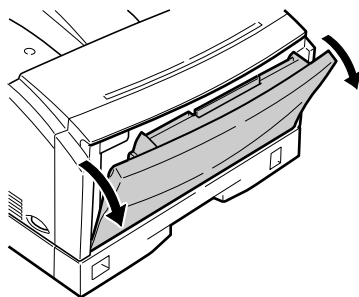
オプションの取り付けや、ケーブルの接続などを行うための空間を確保しておいてください。

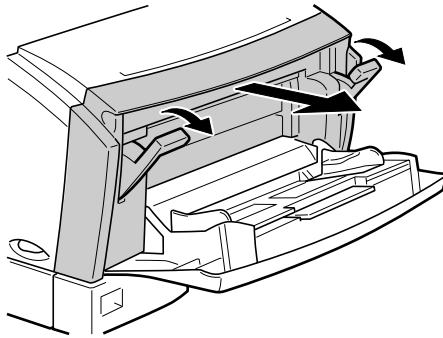
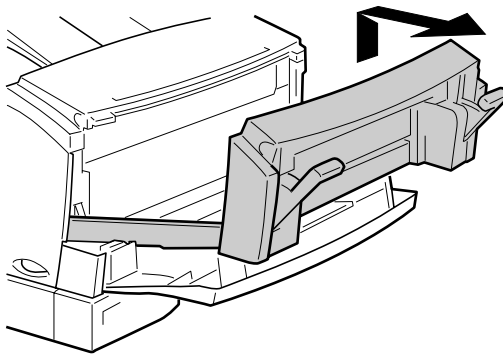
250枚ペーパーフィーダの上に載せるときは、250枚ペーパーフィーダの位置決めピンとプリンタ本体底面の穴を合わせてください。

注意
- **プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。**

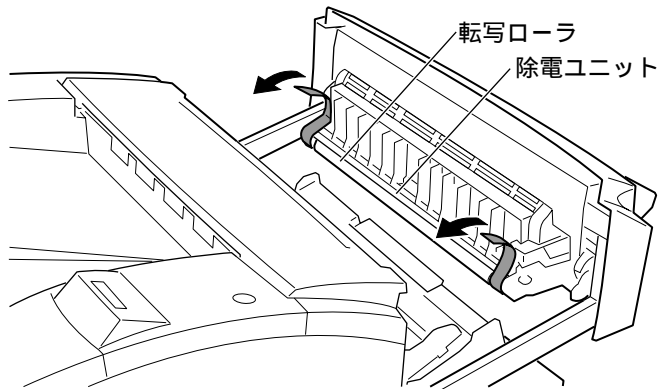
梱包材を取り外す

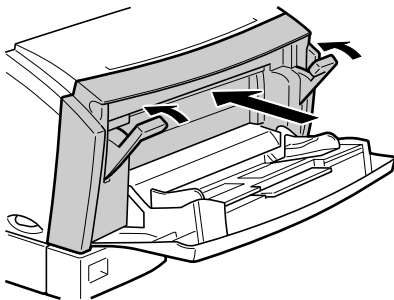
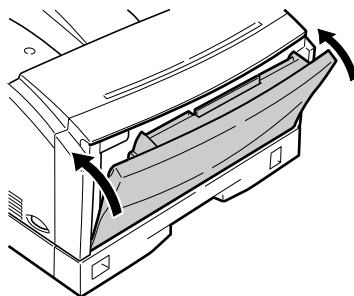
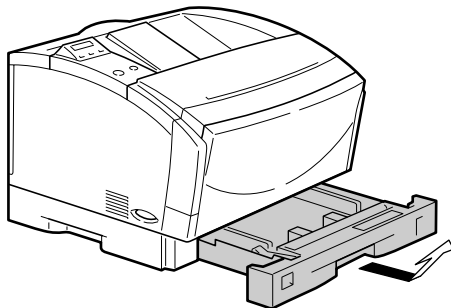
プリンタを設置場所に運んだ後は、トナーカートリッジや用紙をセットする前に梱包材を取り外します。

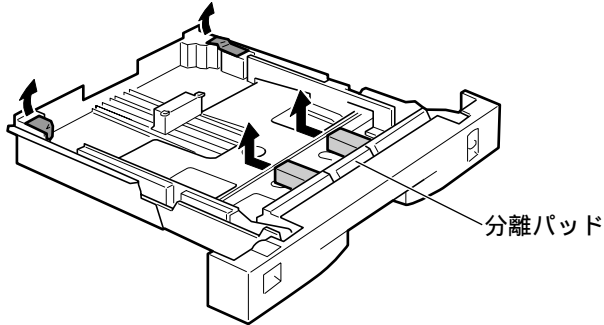
重要
- 本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を保護するために、テープや梱包材が取り付けられています。必ずテープや梱包材を取り外してからご使用ください。
- 本プリンタの運搬や修理の際には、梱包材が必要になりますので、大切に保管しておいてください。

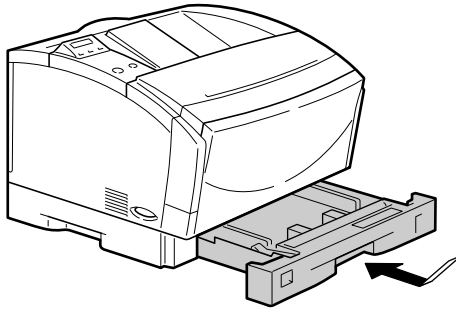
1 給紙トレイや給紙カセットなどを止めているテープを取り外します。

2 左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。

重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

3 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

作業がしにくい場合は、前カバーを少し上に持ち上げると、取り外すことができます。

重要 • 取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。

4 前カバー内側のテープを取り外します。

重要 • 転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

5 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。

6 給紙トレイを閉じます。

7 給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

8 給紙カセットのテープや梱包材をすべて取り外します。

重要 • 給紙カセット前側の分離パッドには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

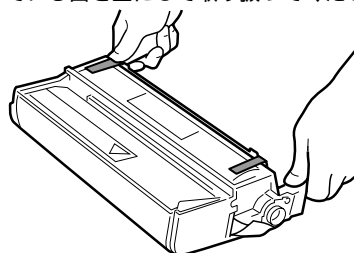
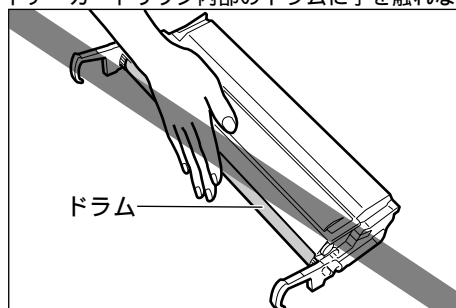
9 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んで取り付けます。

トナーカートリッジをセットする

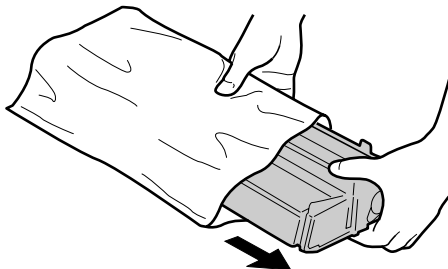
トナーカートリッジは、次の手順で保護材を取り外してからプリンタにセットします。

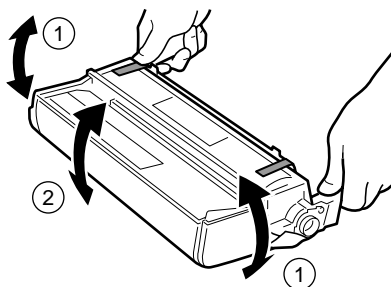
トナーカートリッジは精密な機構の部品で構成されており、磁気や光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。

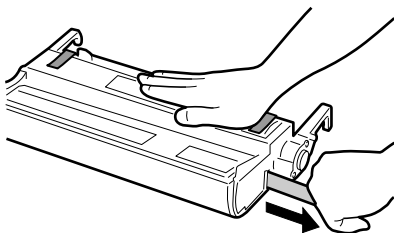
トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

重要

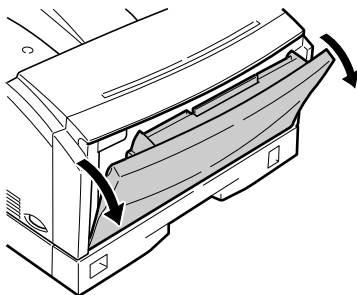
- 必ず本プリンタに付属、または専用のトナーカートリッジを使用してください。
- 新品のトナーカートリッジに装着されている保護カバーは、ドラムを傷つけることがありますので、取り外した後に再装着しないでください。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- トナーカートリッジ内部のドラムに手を触れないでください。

- トナーカートリッジ内部のドラムに傷をつけないでください。
- 前カバーを開いた状態で放置しないでください。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- 本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取り外したときは、すみやかに厚い布で包むか、トナーカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。ディスプレイやパソコンなど、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

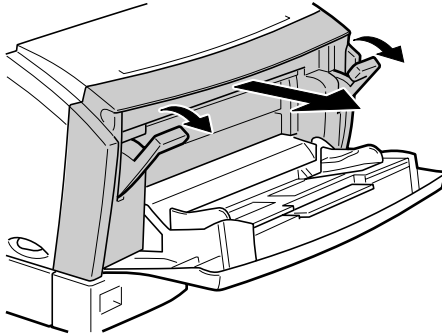
1 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

重要
- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなどのためにトナーカートリッジを取り出した際、必要になります。

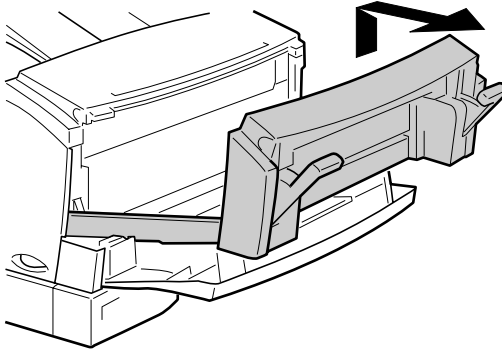
2 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと左右に5～6回振り、次に上下に5～6回振って内部のトナーを均一にならします。

重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。

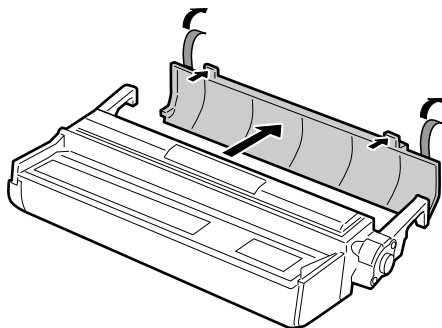
3 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープをまっすぐ横に引き抜きます。

⚠注意
- **トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**

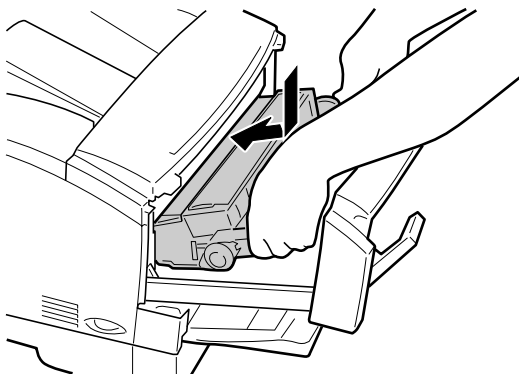
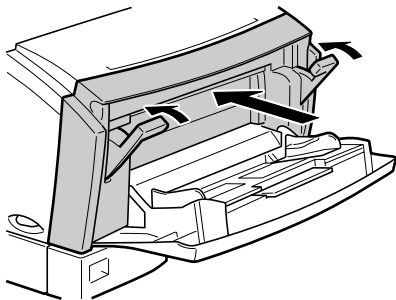
重要
- シーリングテープを最後まで完全に抜き取らないと、印字不良の原因になります。
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープを途中で止めないでください。トナーが散乱し、印字品質低下の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは廃棄してください。

4 左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。

重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

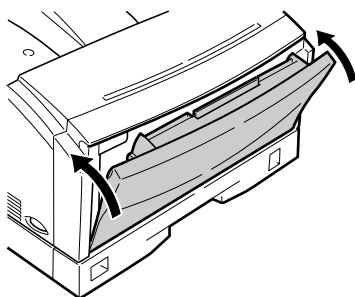
5 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

重要 • 前カバー内側の転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

作業がしにくい場合は、前カバーを少し上に持ち上げると、取り外すことができます。

重要 • 取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。

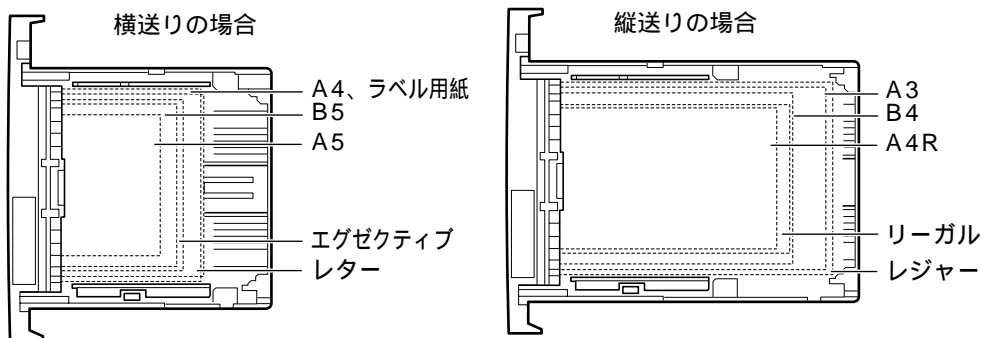
6 保護カバーを止めているテープを取り外し、2 箇所のレバー部分を押して、トナーカートリッジの保護カバーを取り外します。

重要 • 一度取り外した保護カバーは、ドラムを傷つけることがありますので、再装着しないでください。

7 トナーカートリッジを図のように両手で持ち、トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて奥に当たるまで水平に押し込みます。

8 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。

重要

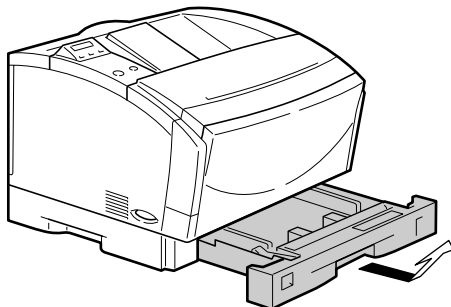
- トナーカートリッジが正しく取り付けられていないと、前カバーが完全に閉まりません。無理に閉めようとすると、前カバーを破損する恐れがあります。前カバーが完全に閉まらないときは、もう一度前カバーを開いてトナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。
- トナーカートリッジを取り付けた後、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

9 給紙トレイを閉じます。

用紙をセットする

本プリンタの給紙カセットには、A5、B5、A4、A4R、B4、A3、エグゼクティブ、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙（64g/m²）を約 250 枚までセットできます。A4 サイズの用紙は通常横置きにセットしますが、縦置き（A4R）にもセットできます。また、ラベル用紙もセットできます。

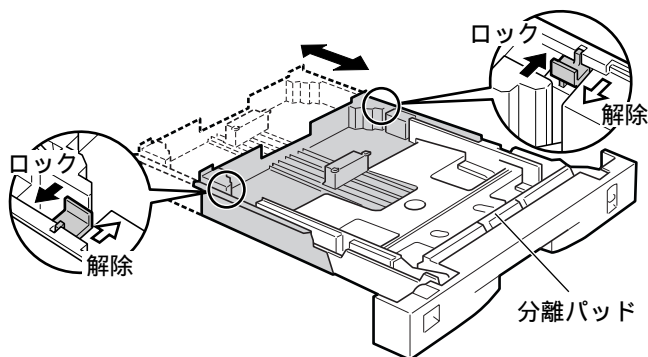
それぞれの用紙は次の手順でセットします。

重要

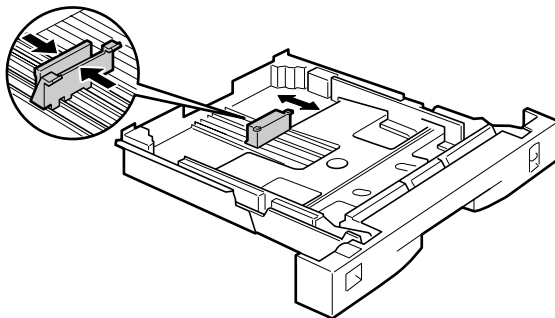
- 紙づまりの原因となることがありますので、次の注意を守ってください。
  - プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。
  - 普通紙（64～90g/m²）、ラベル用紙以外の用紙をセットしないでください。
  - バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。
  - 用紙は、用紙ガイドの積載制限マークを超えないようにしてください。
  - 使用できる用紙についての詳細は、「用紙について」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。
  - 用紙はセットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
  - ハードディスク（LBP-1710 のみ）を使用している場合は、HD ランプが点灯しているときに給紙カセットを引き出したり差し込んだりしないでください。
- ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。給紙トレイにセットすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
- ラベル用紙にプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］（プリンタドライバが使用できない OS の場合は、セットアップメニューの「デフォルト用紙タイプ」）を「普通紙」に設定してください。

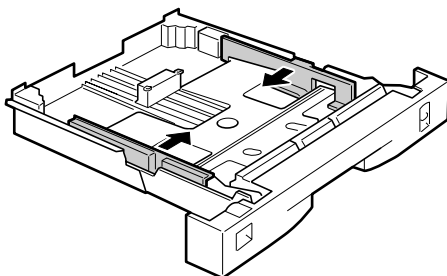
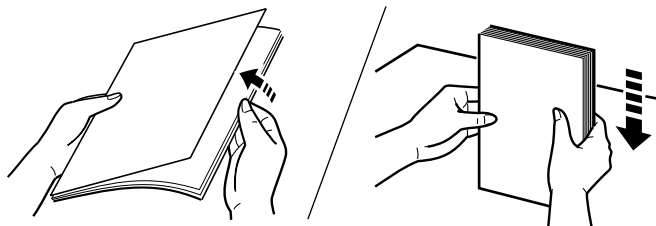
1 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

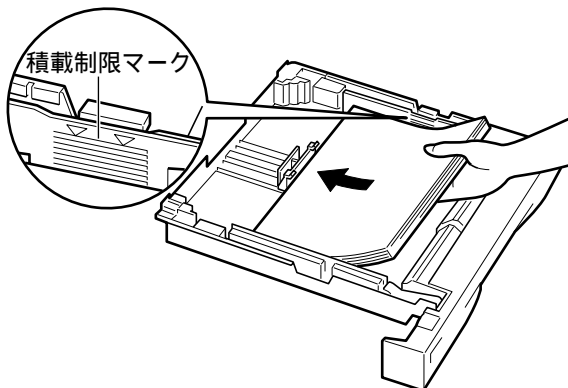
2 セットする用紙に合わせて、延長カセットを調節します。

ロック解除レバーは内側に押すと解除、外側に押すとロックします。

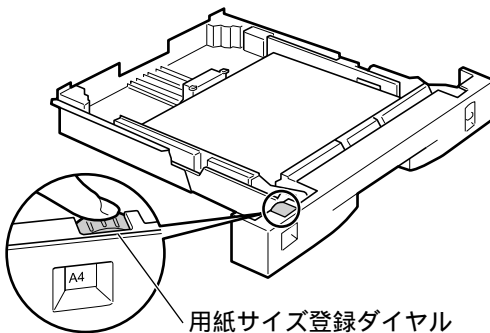
横送りの場合は延長カセットを押し込みます。
縦送りの場合は延長カセットを引き出します。

重要
- ロック解除レバーは、指先の内側で無理な力をかけずにゆっくりと押してください。
- 給紙カセット前側の分離パッドには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

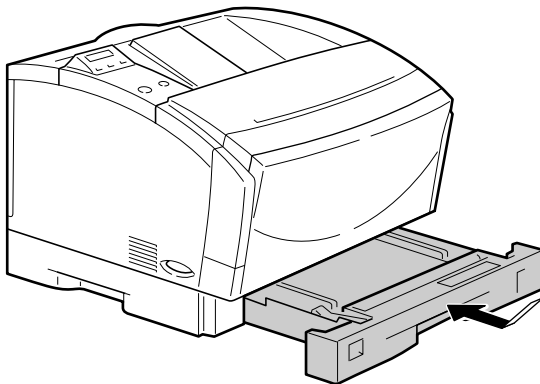
3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

4 側面の用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙サイズに合わせます。

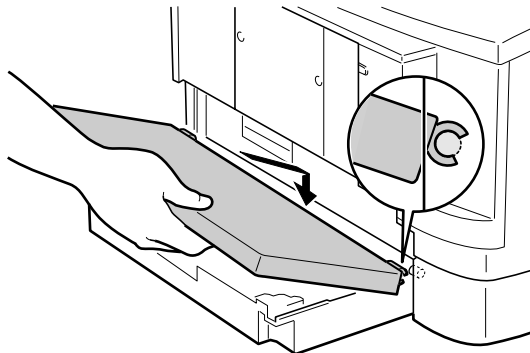
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

5 用紙の束をよくさばき、平らな場所で揃えます。

重要 ・用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。

6 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

重要
- ラベル用紙と普通紙をいっしょにセットしないでください。普通紙がセットされている場合、ラベル用紙をセットするときは、普通紙をすべて取り除いてからラベル用紙をセットしてください。
- ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙カセットへセットしてください。
- ラベル用紙をセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- 用紙は、絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

7 用紙サイズ登録ダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

工場出荷時はA4にセットされています。

重要
- セットした用紙のサイズと用紙サイズ表示が合っていることを必ず確認してから給紙カセットを本体に差し込んでください。セットした用紙と表示が合っていないと、誤動作の原因になります。

8 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んで取り付けます。

重要 • 給紙カセットを取り付けるときは、床面などに接触しないようにしてください。床面などに接触すると用紙サイズ登録ダイヤルがずれることがあります。

9 延長カセットを引き出した場合は、本体背面にカセット保護カバーを取り付けます。

重要 • カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

パソコンと接続する

本プリンタは、双方向通信対応のパラレルコネクタと、USB コネクタを標準装備しています。

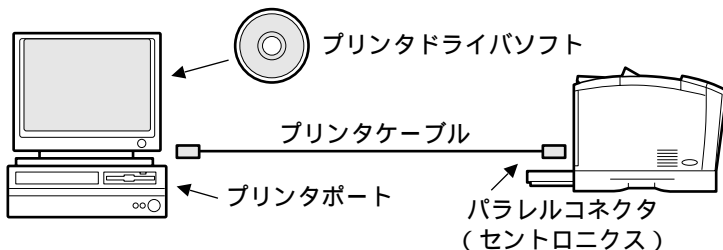
また、プリントサーバ（LBP-1710 は標準装備、LBP-1510はオプション）により、ネットワークにも接続することができます。

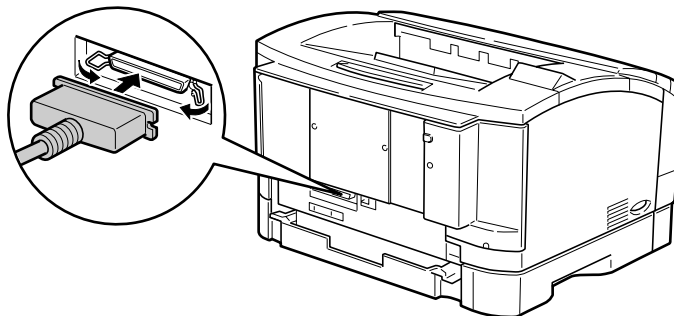
重要 • 本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。

DOS/Windows パソコンとの接続

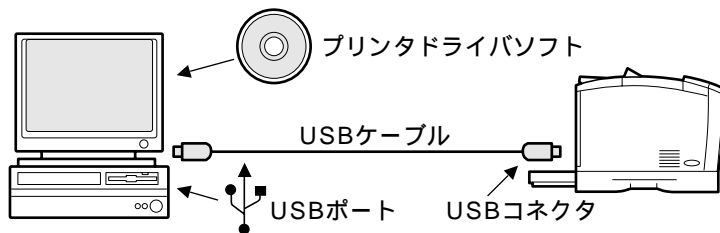
本プリンタを DOS/Windows パソコンに直接接続するときは、プリンタポート（パラレルインタフェース）またはUSBポートに接続します。

プリンタポートに接続する場合

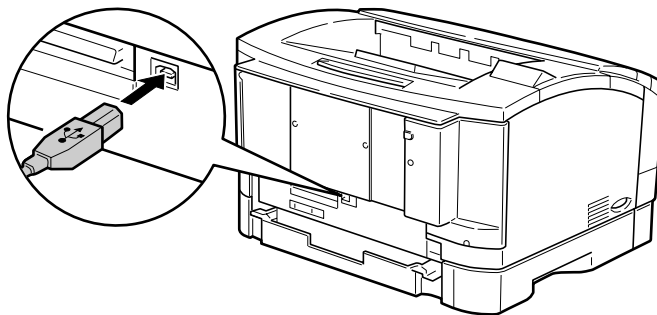
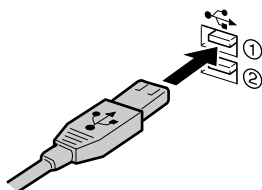
PC-9800 シリーズやIBM PC/AT互換機（DOS/V パソコン）、その他の DOS/Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。

注意 • プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1 **プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。**

2 **プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。**

USBポートに接続する場合

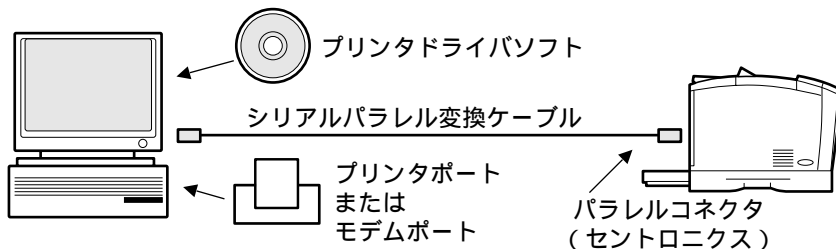
USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USBケーブルで本プリンタ背面のUSBコネクタとパソコンのUSBポートを接続します。

警告
- **電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

重要
- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後のOS起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず5秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
- USB ケーブルは 2m以内のものをご使用ください。

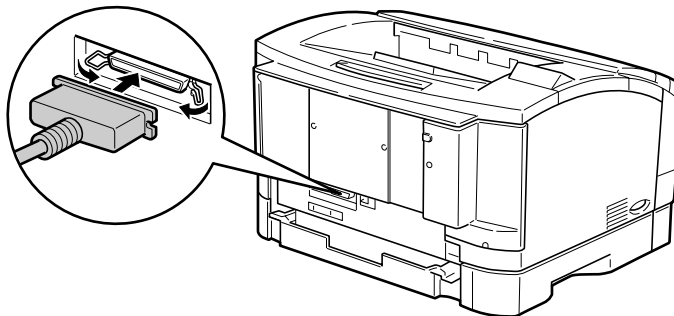
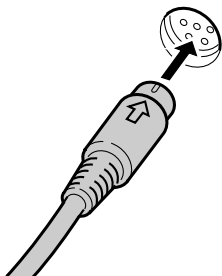
1 **USBケーブルのBタイプ（四角い）側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。**

2 **USBケーブルのAタイプ（平たい）側をパソコンのUSBポートへ接続します。**

Macintoshパソコンとの接続

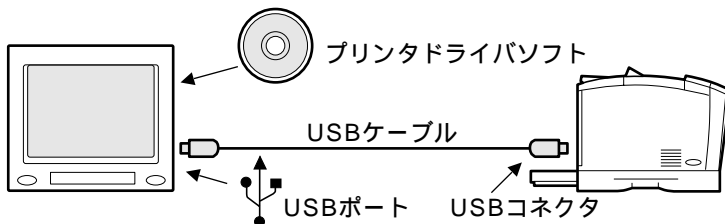
本プリンタをMacintoshに直接接続するときは、2つの方法があります。

シリアルポートに接続する場合

シリアルポートを装備したMacintoshは、シリアルパラレル変換ケーブルで本プリンタ背面のパラレルコネクタとMacintoshのシリアルポートを接続します。接続用のオプションとして、「NetHawk SP-LS III」(プリンタドライバ+シリアルパラレル変換ケーブルセット)が用意されています。

注意 **• プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ • 「NetHawk SP-LS III」については、新潟キヤノテック(株)へお問い合わせください。(TEL.025-244-6445)

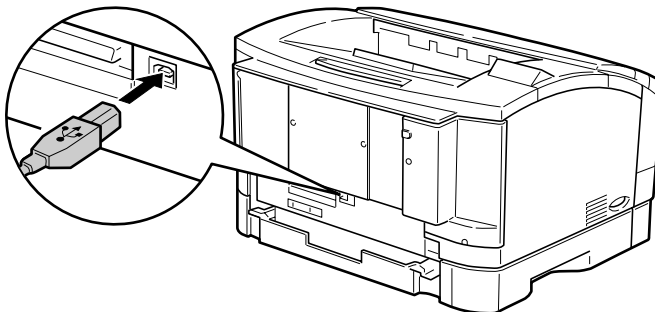
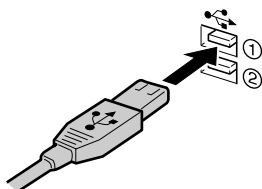
1 シリアルパラレル変換ケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2 シリアルパラレル変換ケーブルの反対側を Macintosh のプリンタポート（シリアルポート）へ接続します。

USB ポートに接続する場合

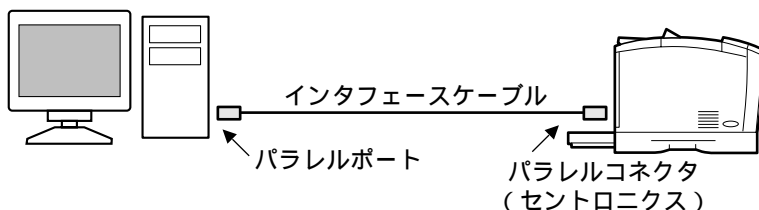
USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備した Macintosh は、USB ケーブルで本プリンタ背面の USB コネクタと Macintosh の USB ポートを接続します。

警告

- **電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

重要

- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後の OS 起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
- USBケーブルは 2m以内のものをご使用ください。

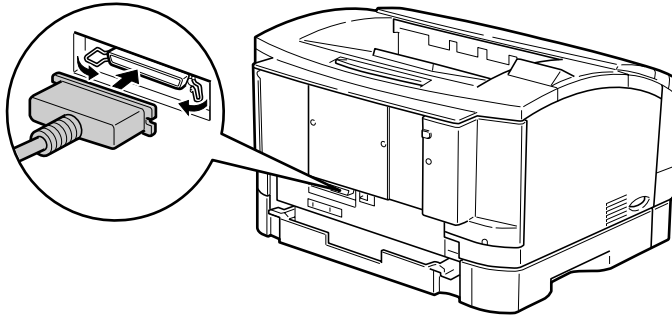
1 **USBケーブルのBタイプ（四角い）側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。**

2 **USBケーブルのAタイプ（平たい）側をMacintoshのUSBポートへ接続します。**

その他のパソコンとの接続（LBP-1710のみ）

ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったインタフェースケーブルで本プリンタと接続します。

注意
- **インタフェースケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
  ①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  ②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

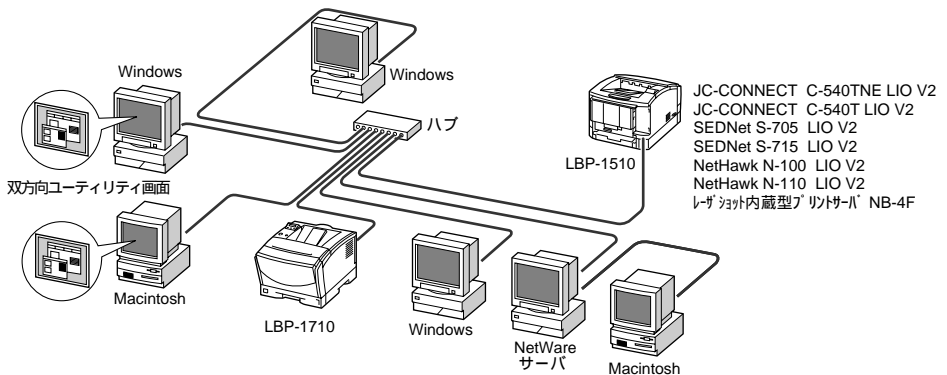
なお、本プリンタをPS/55シリーズやFM-Rシリーズなどのパソコンに接続して使用する場合、オプションのコントロールROMが必要です。また、これらのパソコンからプリントする場合、インタフェースの自動切り替えや動作モードの自動切り替えができないことがあります。この場合、使用しているインタフェースおよびコントロールROMのエミュレーションモードに固定してご使用ください。コントロールROMには、次の種類が用意されています。

製品名	
CR-MES	**下記のコントロールROMおよびフォントROMの内容を収録** ・PC-PR201/80Aプリンタエミュレーション拡張版 ・ESC/P準拠プリンタエミュレーション拡張版 ・IBM5577プリンタエミュレーション ・NEC N5273 プリンタエミュレーション ・富士通 FMPR-359 プリンタエミュレーション ・HP7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション ・バーコードフォントROM（FR-BFV2CL相当）

重要
- 使用できるインタフェースケーブルについては、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- コントロールROMの取り付けについては、「コントロールROM（LBP-1710のみ）」（→P.1-6）、「RAM/ROM」（→P.3-10）をご覧ください。
- インタフェースおよびエミュレーションモードの固定方法については、「LIPS　機能ガイド」をご覧ください。

1 **プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。**

2 **プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。**

ネットワークとの接続

本プリンタをEthernetなどのネットワークに接続すると、ネットワーク上のパソコンからプリンタを共有して使用することができます。NetWare、UNIX、Windows、Mac OSなどのOSで使用可能です。

標準のプリントサーバを使用する場合（LBP-1710のみ）

LBP-1710は、10BASE-T/100BASE-TX対応プリントサーバを標準装備しており、ネットワークへ直接接続してWindowsやMacintosh、UNIXなどのパソコンからプリンタを共有することができます。本プリンタのプリントサーバはIPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBIOS/NetBEUIのプロトコルに対応しています。

メモ

- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定などが必要です。これらの設定については「ネットワークガイド」をご覧ください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバのMACアドレスなどを確認し、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。

オプションのプリントサーバを使用する場合

オプションのプリントサーバには以下の種類があります。プリントサーバにより、対応OSやネットワークの種類が異なります。お使いのネットワークやパソコンに合わせてお選びください。

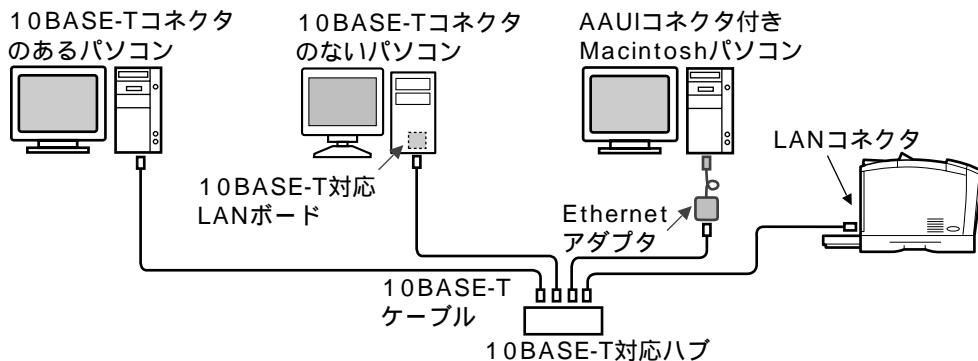
製品名称	対応プロトコル	ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	メーカ名
JC-CONNECT 540TNE LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
JC-CONNECT 540T LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
SEDNet S-705 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
SEDNet S-715 LIO V	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T 100BASE-TX	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
NetHawk N-100 LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
NetHawk N-110 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
内蔵型ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ NB-4F	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	キヤノン(株)

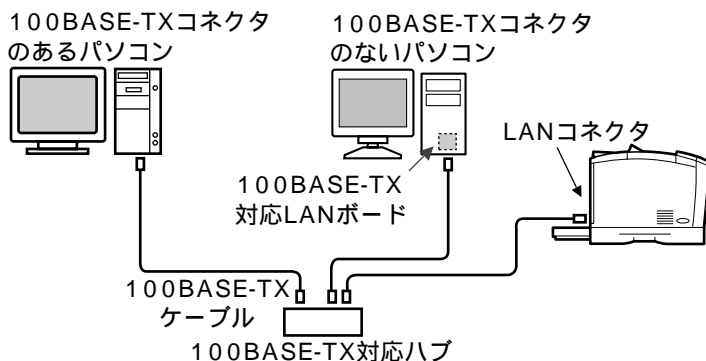
これら製品の詳細や購入については、プリンタをお買い上げの販売店へお問い合わせください。

メモ

- 本プリンタにプリントサーバを装着してネットワークに接続した場合、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSやプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。

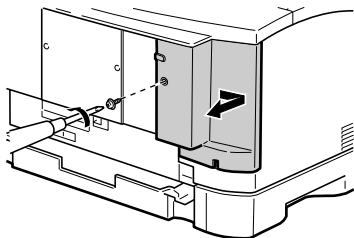
10BASE-T接続の場合

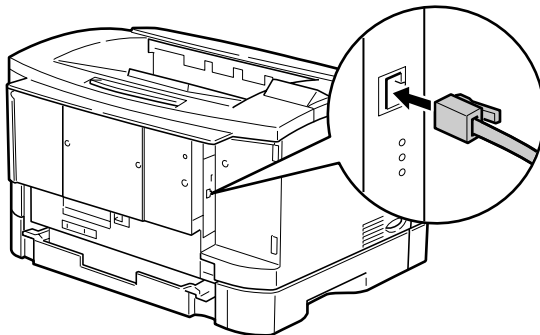
本プリンタのプリントサーバとハブのポートを10BASE-T対応LANケーブル（カテゴリ3～5用ツイストペアケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

100BASE-TX接続の場合

本プリンタのプリントサーバとハブのポートを100BASE-TX対応LANケーブル（カテゴリ5用ツイストペアケーブル）で接続します。100BASE-TXのネットワークに対応していないパソコンの場合は、100BASE-TX対応のネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

メモ

- ハブやLANケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LANに接続している機器は、すべて100BASE-TXに対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。

LAN コネクタに接続する

1 **プリンタ背面のネジを取り外し、拡張ボードスロットカバーを取り外します。**

重要 • 指示以外のネジは取り外さないでください。

2 **LANケーブルを本プリンタのLANコネクタに接続します。**

拡張ボードスロットカバーを取り付ける前に、引き続き電源コードの接続「電源コードを接続する」(→P.2-31)と、「プリントサーバの動作を確認する」(→P.4-5)を行ってください。

電源コードを接続する

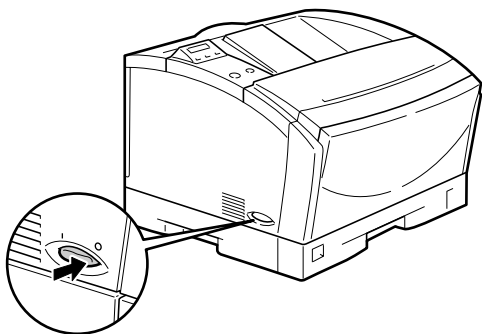
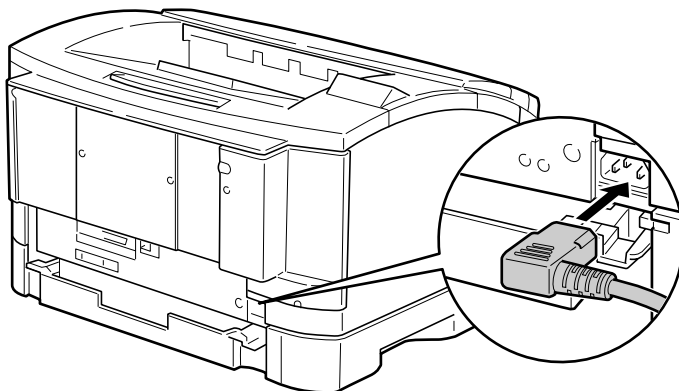
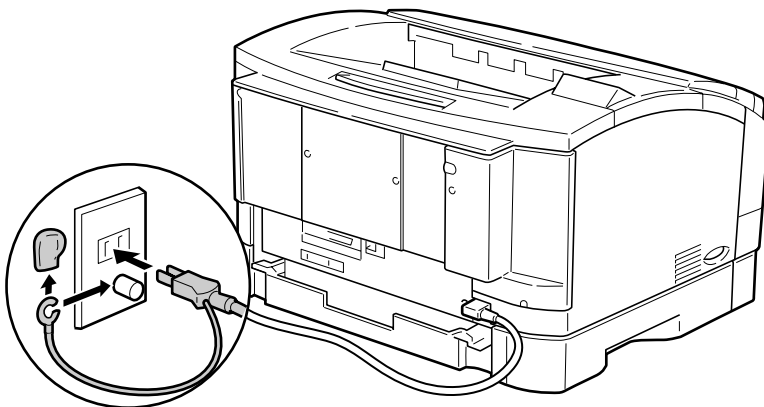
パソコンとの接続が終わったら、電源コードとアース線を接続します。接続する際には「⚠安全にお使いいただくために」（→ P. vii）を必ずお読みください。

⚠警告
- **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。**
- **電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。**
- **タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。**
- **電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。**
- **電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。**
- **アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。**
- **原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V15A以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。**

⚠注意
- **表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。**
- **電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。**
- **いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラクが抜けなくなります。**

重要
- アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続を行ってください。片方だけ接続すると機器間に電位差が生じ、事故の原因になります。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

電源スイッチの“ ○ ”側を押した状態がオフです。

2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

3 アース線のキャップを外してアース線をアース線端子へ接続し、電源プラグを電源コンセントへ差し込みます。

警告 ● **アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。**

重要 ● 取り外したキャップは、大切に保管してください。

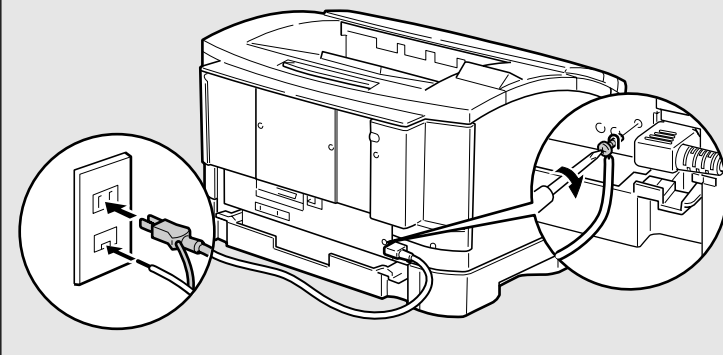
● 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

●アース線が電源コンセントのアース線端子に接続できないときは

電源コンセントのアース線端子の形状によっては、電源コードのアース線が接続できない場合があります。その場合は、市販のアース線でプリンタ背面のアース線端子と電源コンセントのアース線端子を接続してください。

重要 ● 市販のアース線を使用する場合は、プリンタに付属の電源コードのアース線には必ずキャップをしてください。

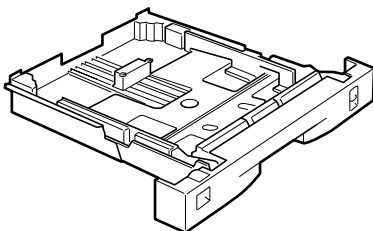
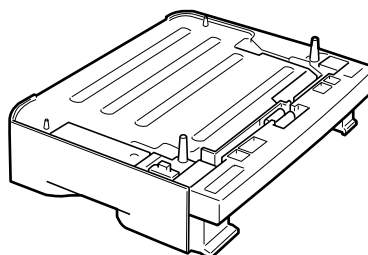
2

プリンタの設置

オプションの取り付け

ここでは、オプション品の取り付けかたについて説明しています。

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダを設置する前に、以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

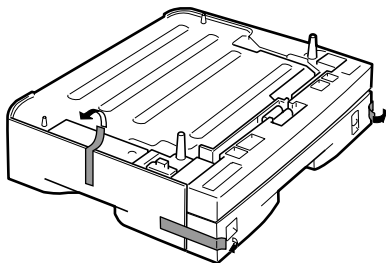
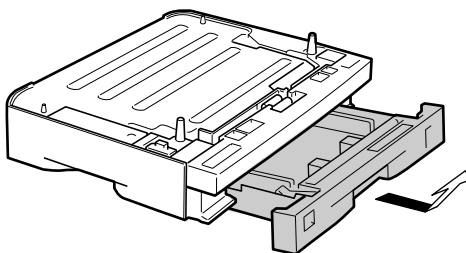
■ **ペーパーフィーダユニット PF-65**

250 枚給紙カセット

250枚ペーパーフィーダ

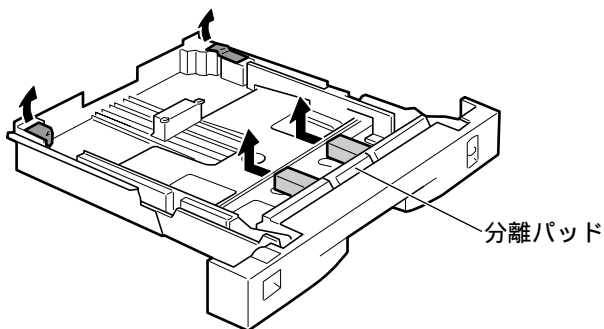
重要
- ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源コードとインタフェースケーブルをすべて取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。（→電源コードを接続する：P.2-31 ）
- ペーパーフィーダを4段以上取り付けることはできません。

梱包材を取り外す

ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける前に、ペーパーフィーダに取り付けられているテープや梱包材を取り外します。

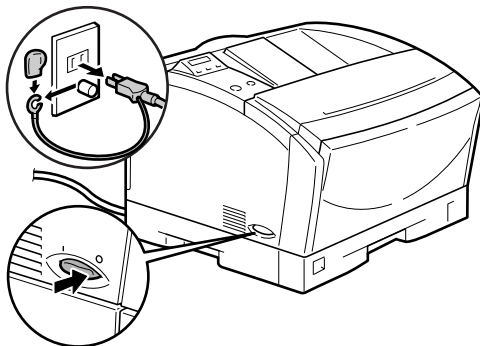
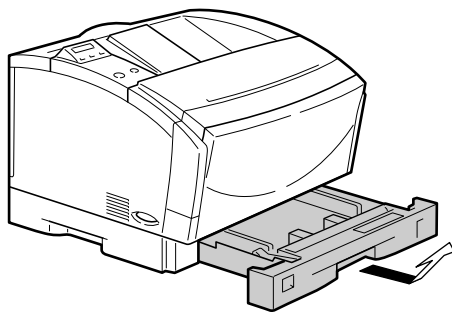
重要
- ペーパーフィーダには、輸送時の振動や衝撃から装置を保護するために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず梱包材を取り外してからご使用ください。
- ペーパーフィーダの運搬や修理の際には、梱包材が必要になりますので、大切に保管しておいてください。

1 ペーパーフィーダを止めているテープを取り外します。

2 ペーパーフィーダの給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。

重要 • 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

3 給紙カセットのテープや梱包材を取り外します。

重要 • 給紙カセット前側の分離パッドには、絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

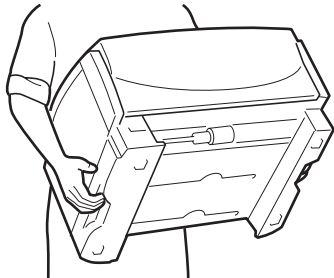
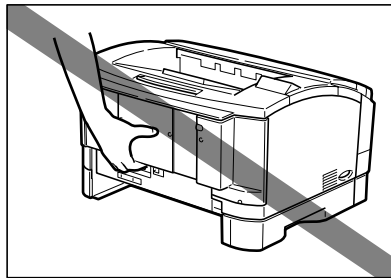
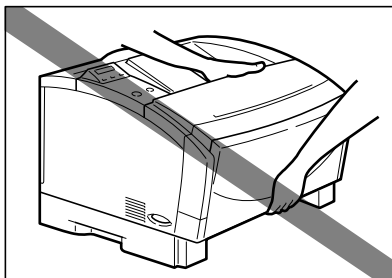
プリンタ本体の電源コードや給紙カセットを取り外す

ペーパーフィーダをプリンタに取り付けるときは、まずプリンタ本体から電源コードや給紙カセットを取り外します。

1 **電源スイッチの" ○ "側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

2 **プリンタ本体の給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。**

重要 • 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

3 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

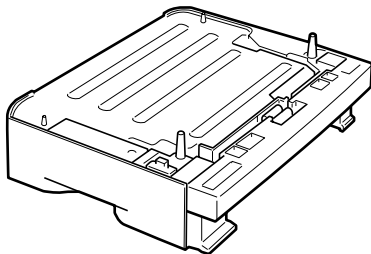
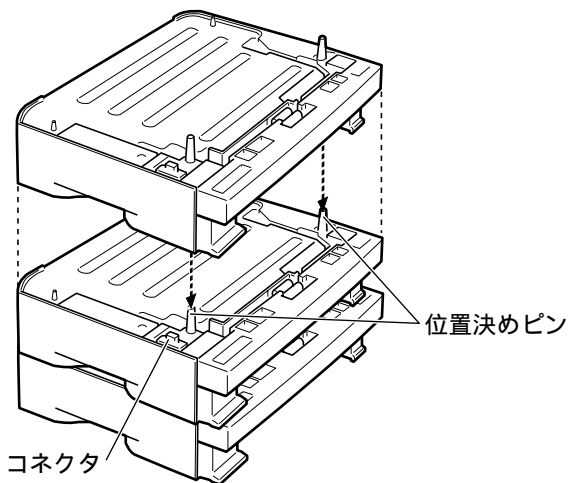
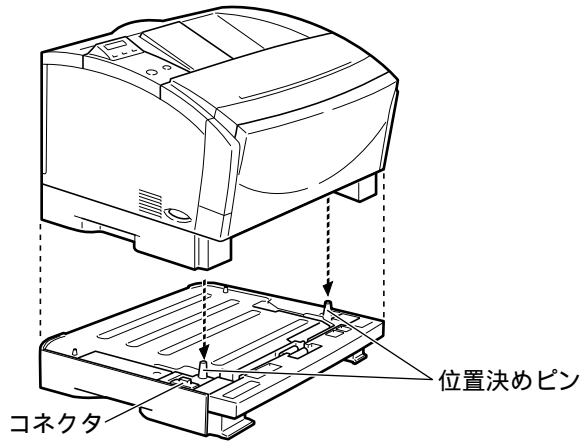
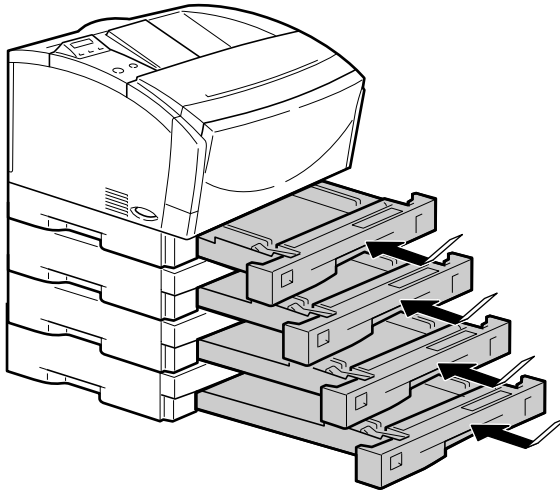
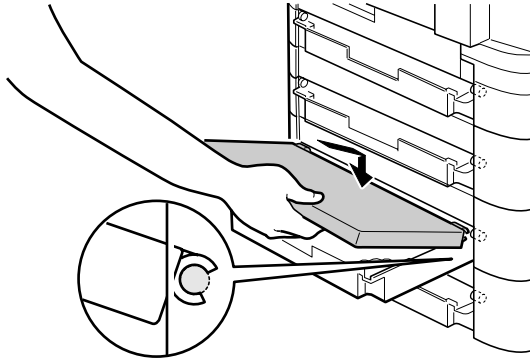
4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

図のように本体両側面下部の運搬用取っ手に手を掛けて、持ち運んでください。

注意
- **絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。**

重要
- 給紙カセットは、必ず取り外してから運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損する原因になります。
- 本プリンタは、本体のみで約13.5kgあります。十分に注意して持ち運んでください。（トナーカートリッジは約2kg、給紙カセットは約1.5kgあります。）

ペーパーフィーダを取り付ける

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の下に取り付けます。

注意
- **プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。**

1 **ペーパーフィーダを設置場所へ置きます。**

2 **2台目や3台目のペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。**

3 **プリンタ本体をペーパーフィーダの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。**

4 **ペーパーフィーダやプリンタ本体の給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んで取り付けます。**

5 必要に応じて、本プリンタに付属のカセット保護カバーを背面に取り付けます。

重要
- カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

メモ
- カセット保護カバーは、プリンタ本体およびペーパーフィーダの背面に取り付けることができます。適切な位置に取り付けてください。

6 プリンタ本体の電源コードやインタフェースケーブルを接続します。

7 アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ペーパーフィーダの取り外しかた

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。

重要
- ペーパーフィーダを取り外す際は、必ず電源をオフにし、電源コードとインタフェースケーブルを取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。
- プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセットを取り外してください。

1 **電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

2 **給紙カセットをすべて取り外します。**

3 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

4 **プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。**

5 **ペーパーフィーダを移動します。**

6 **プリンタ本体を設置場所へ戻します。**

7 **プリンタ本体の電源コードやインタフェースケーブルを接続します。**

8 **給紙カセットを取り付けます。**

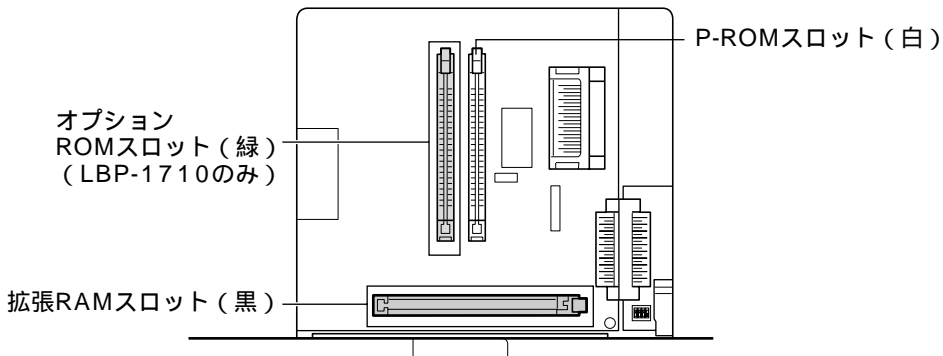
9 **アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

RAM/ROM

拡張RAM、コントロールROM、フラッシュメモリ（ROM）は、次の方法でメインボード上のスロットに取り付けて使用します。

重要
- P-ROM用スロット（白）に取り付けられているROMは絶対に取り外さないでください。プリンタが使用できなくなります。
- RAMやROMを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにして電源コードやインタフェースケーブルを取り外し、作業しやすい場所へ移動して作業を行ってください。

RAM、ROMの取り付け位置について

RAM と ROM は、取り付ける位置が違います。取り付け位置を間違えると、正しく動作しません。取り付け位置を間違えないように注意してください。

RAMの取り付けかた

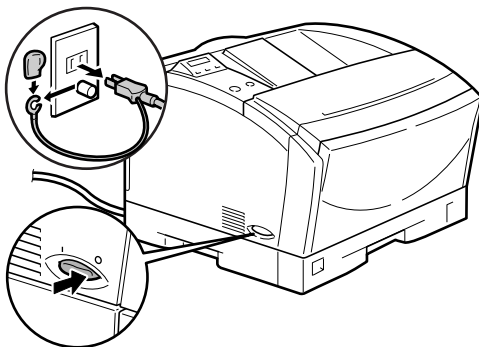
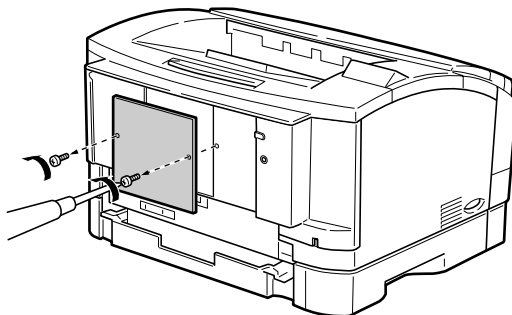
RAM は次の手順でプリンタ背面の拡張 RAM スロットへ取り付けます。スロットカバーの取り外しにはプラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

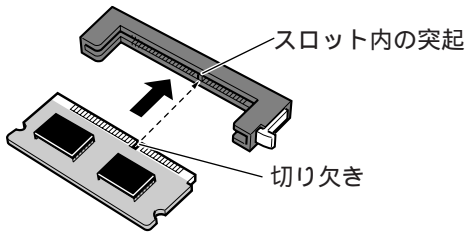
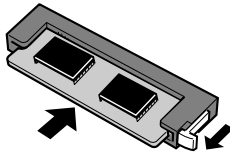
重要
- RAMには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気によるRAMの破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のようなことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、RAM は取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。

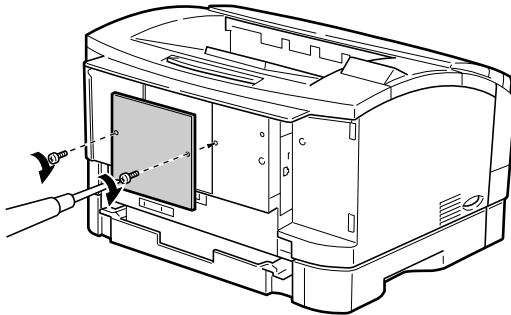
1 **電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

2 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

3 **プリンタ背面の2本のネジを取り外し、スロットカバーを取り外します。**

重要

- スロットカバーを落下させないように手で支えながら作業してください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

4 RAMをスロットガイドに合せて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

RAMが完全にロックされると、レバーがスロットと同じ高さまで上がります。

注意 • **メインボード上の部品やRAMの角でけがをしないように、注意してください。**

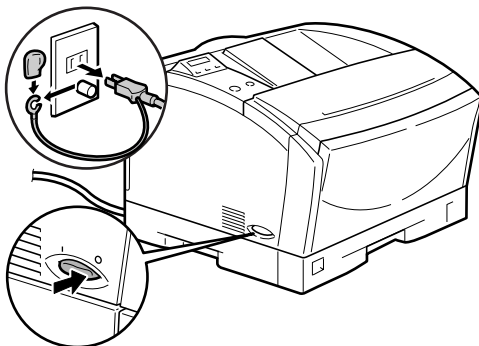
5 2本のネジでスロットカバーを固定します。

6 電源コードやインタフェースケーブルを接続します。

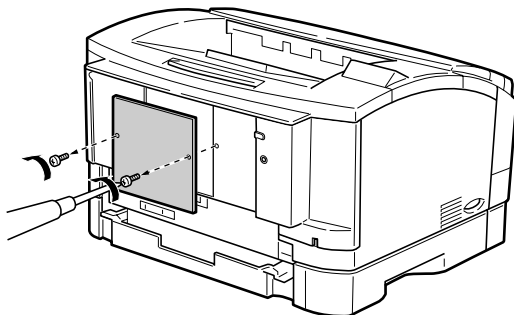
7 アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

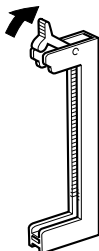
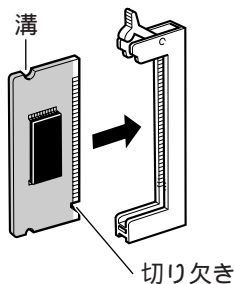
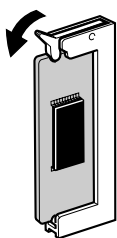
ROMの取り付けかた（LBP-1710のみ）

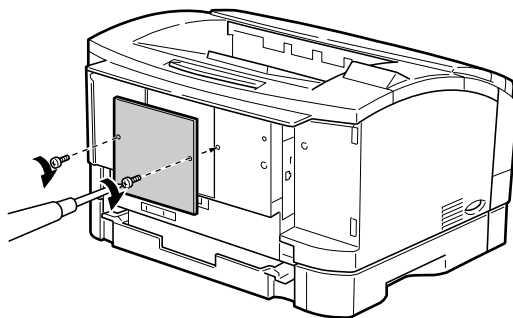
ROM は次の手順でプリンタ背面のオプション ROM スロットへ取り付けます。スロットカバーの取り外しにはプラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

重要
- ROMには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気によるROMの破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のようなことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、ROM は取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。

1 **電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

2 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

3 プリンタ背面の2本のネジを取り外し、スロットカバーを取り外します。

重要
- スロットカバーを落下させないように手で支えながら作業してください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

4 緑色のROMスロットのレバーを押します。

5 ROMの切り欠きをレバーの反対側にして、スロットガイドに合せて差し込み、レバーでロックされるまでしっかりと押し込みます。

ROMが完全にロックされると、レバーの突起がROMの溝に掛かります。

注意 • **メインボード上の部品やROMの角でけがをしないように、注意してください。**

6 2本のネジでスロットカバーを固定します。

7 電源コードやインタフェースケーブルを接続します。

8 アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

RAMまたはROMの取り外しかた

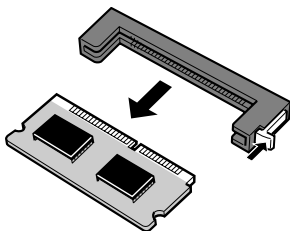
RAMやROMは、次のように取り外します。

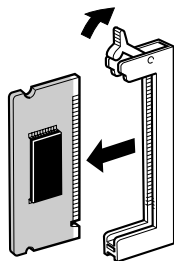
- RAMやROMを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにして電源コードやインタフェースケーブルを取り外し、作業しやすい場所へ移動して作業を行ってください。

メモ

- スロットカバーの取り外しや取り付け手順は「RAMの取り付けかた」（→P.3-10）または「ROMの取り付けかた（LBP-1710のみ）」（→P.3-13）をご覧ください。

● **RAMの取り外し**

図のようにレバーを押すと外れます。

● **ROMの取り外し**

図のようにレバーを押し上げると外れます。

RAM、ROMの設定

RAMやROMを取り付けた後は、次の設定を行ってください。

拡張RAM	→	必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。
フラッシュメモリ	→	オプションのFlash Buddyでフォントやオーバレイなどをダウンロードします。
コントロールROM	→	ユーティリティソフトのインストーラのメンテナンス、またはメニュー機能で設定します。

メモ

- ユーティリティソフトのインストーラのメンテナンス、およびプリンタドライバの使いかたの詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
- 操作パネルのメニュー機能のエミュレーションモードの設定については「LIPS 機能ガイド」またはオプションのコントロールROMに付属のマニュアルをご覧ください。

プリントサーバ

プリントサーバは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの詳細については、プリントサーバの取扱説明書をご覧ください。

ここでは、プリントサーバ NB-4F を例にしています。

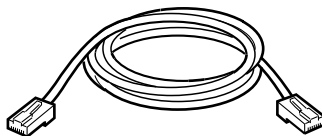
重要

- プリントサーバを取り付けるときは、必ず電源をオフにし、電源コードとインタフェースケーブルを取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。（→電源コードを接続する：P.2-31）
- プリントサーバには、静電気に敏感な部品が使用されています。このため、プリントサーバを不用意に取り扱うと、静電気によって部品を破損し、動作不良などのトラブルの原因となることがあります。取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、プリントサーバは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はプリントサーバを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。
- プリントサーバNB-4Fを取り付けたプリンタがAppleTalkネットワーク上に2台以上接続されている場合、それぞれのプリンタの電源は10秒以上間隔をおいてオンにしてください。

ケーブルやコネクタの準備

本プリントサーバをプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルやコネクタが必要です。あらかじめこれらのケーブルやコネクタを準備してから作業を行ってください。

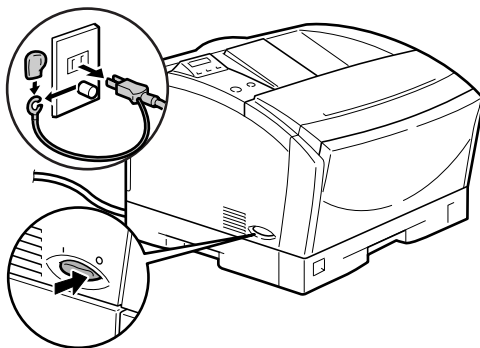
● **ツイストペアLANケーブル**

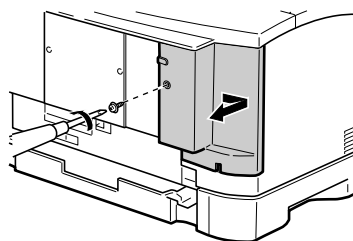
接続するネットワークに合わせて、10BASE-T または 100BASE-TX 対応のネットワークケーブル（両端にRJ-45コネクタが付いたより対線）をご用意ください。

● **ハブ**

プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合、ハブの増設が必要になります。

プリントサーバの取り付けかた

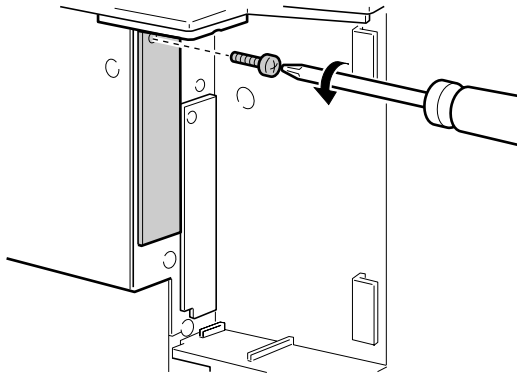
プリントサーバは、次の手順でプリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの取り付け作業には、プラスドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

2 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

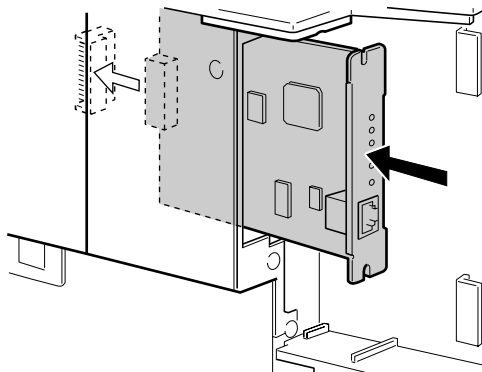
3 **プリンタ背面のネジを取り外し、拡張ボードスロットカバーを取り外します。**

重要 • 指示以外のネジは取り外さないでください。

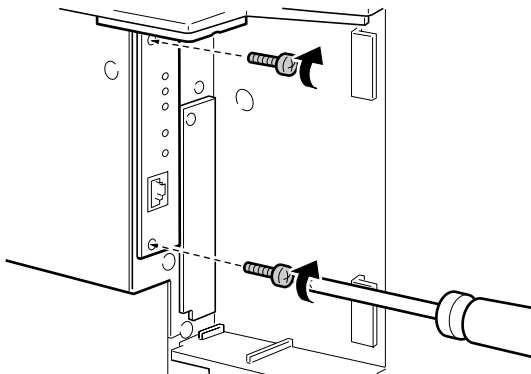
3

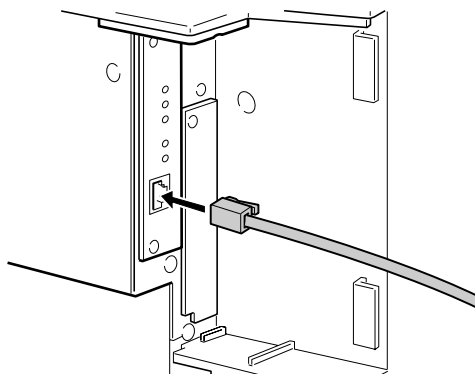
オプションの取り付け

4 ネジを取り外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要
- 取り外し保護板とネジは、プリントサーバを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

5 プリントサーバを拡張ボードスロットに差し込みます。

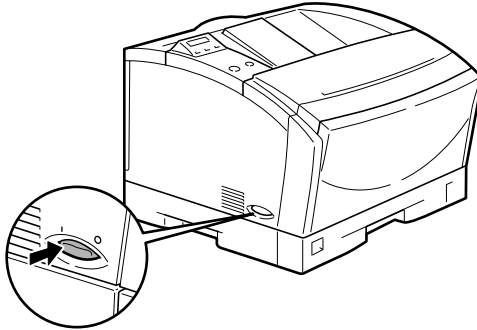
プリントサーバは、金属製のパネル部分を 持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリントサーバのコネクタを拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 付属の2本のネジでプリントサーバの上下を固定します。

7 LANケーブルを接続します。

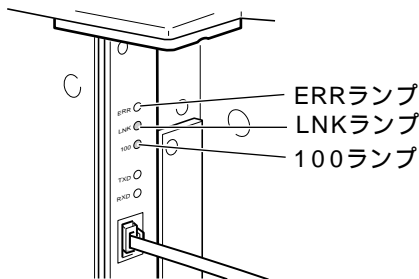
お使いのネットワークに合わせて、プリントサーバのLANコネクタに対応したLANケーブルを接続してください。

メモ
- ネットワークとの接続については、プリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。

8 電源コードやインタフェースケーブルを取り付けます。

9 アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 電源スイッチの“I”側を押してプリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

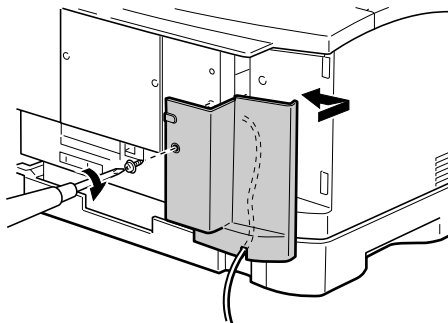
重要
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

11 プリントサーバのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば正常です。

100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば正常です。

正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LANケーブルの接続やハブの動作、プリントサーバの取り付け状態を確認してください。（→プリントサーバに付属の取扱説明書）

12 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにします。

13 LANケーブルを拡張ボードスロットカバーの溝に通し、ネジで拡張ボードスロットカバーを固定します。

重要 ●拡張ボードスロットカバーを取り外したまま使用しないでください。

プリントサーバの取り外しかた

プリントサーバの取り外しは、次の手順で行います。プリントサーバの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

重要
- プリントサーバを取り外すときは、必ず電源をオフにし、電源コードとインタフェースケーブルを取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。

---

1 **電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

2 **プリンタ背面のネジを取り外し、拡張ボードスロットカバーを取り外します。**

3 **電源コードやインタフェースケーブル、LANケーブルをすべて取り外します。**

4 **2本のネジを外して、プリントサーバを取り外します。**

取り外したプリントサーバは、取り付け時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

重要
- プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

5 **ネジで拡張ボードスロットの保護板を取り付けます。**

6 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り付けます。**

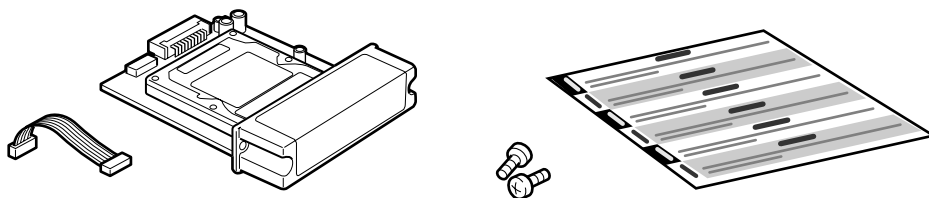
7 **ネジで拡張ボードスロットカバーを固定します。**

重要
- 拡張ボードスロットカバーを取り外したまま使用しないでください。

8 **アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

ハードディスク（LBP-1710のみ）

ハードディスクは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付け、操作パネルでハードディスクの設定を変更します。

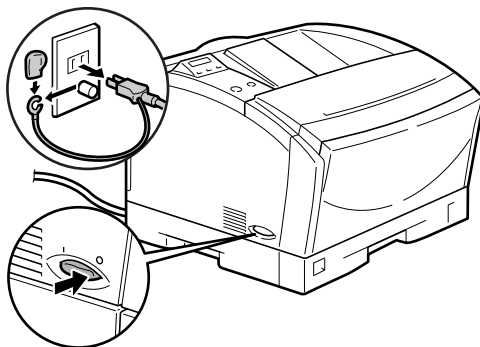
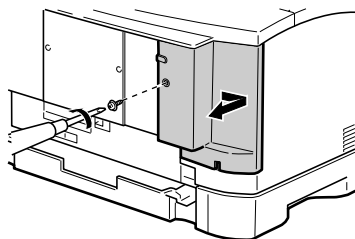
取り付け作業を始める前に、以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

コネクタケーブル　ハードディスクHD-8　ネジ（2本）　ガイドシート

重要

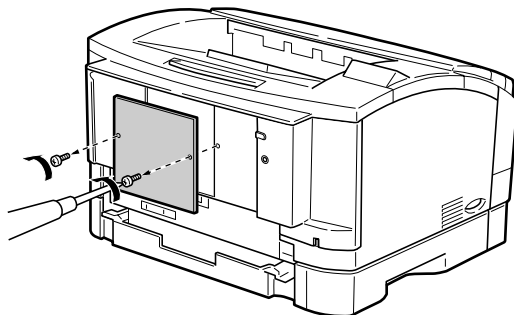
- ハードディスクを取り付ける際は、必ず電源をオフにし、電源コードとインタフェースケーブルを取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。
- メインボードやハードディスクには、静電気に敏感な部品が使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・メインボードやハードディスクの部品、プリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、ハードディスクは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、強い磁気を発生するものの側に近づけないでください。
- ハードディスクは精密機器なので、ドライブの上面を押したり、重ねたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ハードディスクのドライブ上面に貼ってあるシールなどを絶対にはがさないでください。また、別のシールなどを貼らないでください。
- ハードディスクを気温の低い場所から暖かい場所へ急に移動しないでください。
- ハードディスクを使用するときは、拡張RAMが16MB以上必要です。ハードディスクと併せて取り付けてください。拡張RAMの取り付けについては、「RAM/ROM」（→ P.3-10）をご覧ください。

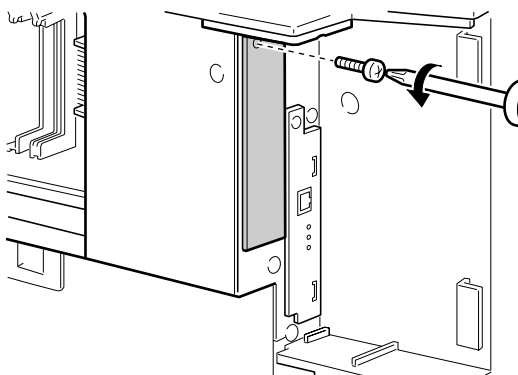
ハードディスクの取り付けかた

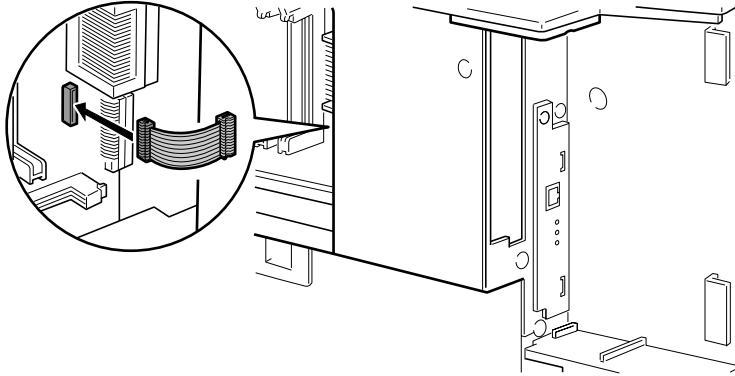
ハードディスクは、次の手順でプリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。ハードディスクの取り付け作業には、プラスドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

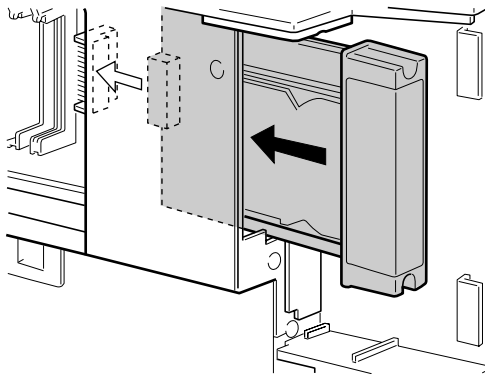
1 電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。

2 プリンタ背面のネジを取り外し、拡張ボードスロットカバーを取り外します。

重要 • 指示以外のネジは取り外さないでください。

3 電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

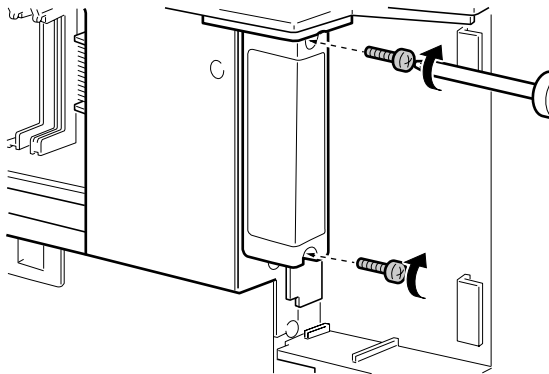
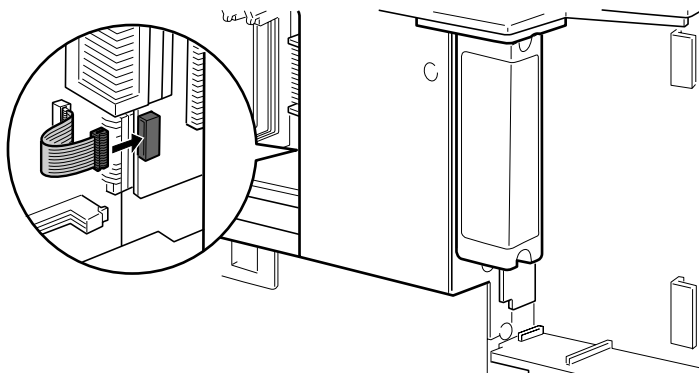
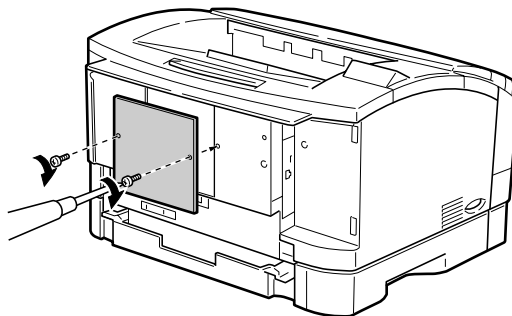
4 プリンタ背面の2本のネジを取り外し、スロットカバーを取り外します。

重要
- スロットカバーを落下させないように手で支えながら作業してください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

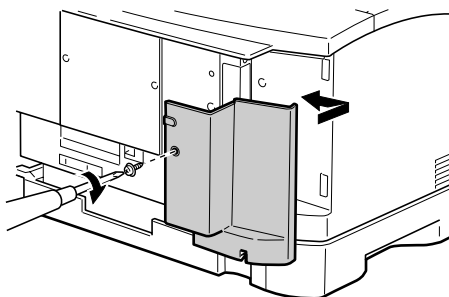
5 ネジを取り外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要
- 取り外した保護板とネジは、ハードディスクを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。
- 指示以外のネジは取り外さないでください。

6 ハードディスクに付属のケーブルのコネクタ（ベージュ色）を、メインボードのソケット（ベージュ色）へ差し込みます。

7 ハードディスクを拡張ボードスロットに差し込みます。

ハードディスクは、金属のカバー部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

⚠注意 • **ハードディスク上の部品でけがをしないように、注意してください。**

重要
- ハードディスクの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ハードディスクのコネクタを拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

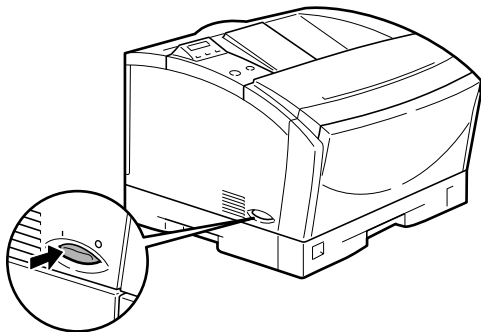
8 付属の2本のネジでハードディスクの上下を固定します。

9 ケーブルのコネクタ（青色）をハードディスクのソケット（青色）へ差し込みます。

10 2本のネジでスロットカバーを固定します。

11 電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り付けます。

12 ネジで拡張ボードスロットカバーを固定します。

重要 • 拡張ボードスロットカバーを取り外したまま使用しないでください。

13 アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ハードディスクの設定

ハードディスクユニットの取り付けが終わったら、操作パネルでハードディスクの設定を「ツカウ」に変更します。

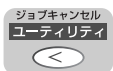
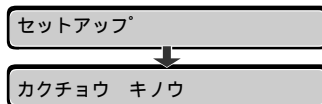
1 電源スイッチの“I”側を押してプリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

重要
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」(→ユーザーズガイド) をご覧ください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

2 [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。

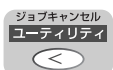
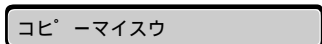
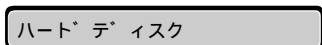
操作パネルで設定できる状態になります。

3 [セットアップ] を押します。

セットアップメニューの項目が表示されます。

4 [<]、[>] を押して「カクチョウ キノウ」を選択し、[V] を押します。

カクチョウ　キノウ　→

拡張機能の設定項目が表示されます。

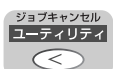
リセット/実行

5 [<]、[>] を押して「ハードディスク」を選択し、[V] を押します。

ハード゛デ゛ィスク　→

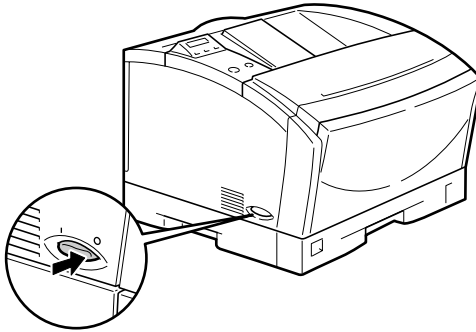
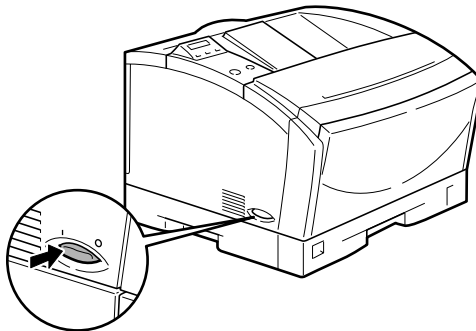
ディスプレイに現在の設定値が表示されます。

6 [<]、[>] を押して「ツカウ」を選択し、[V] を押します。

ツカウ　→

設定値が「ツカウ」に変更されます。

＝ツカウ　→

7 電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにします。

メモ
- プリンタの電源をオフにする代わりに、ハードリセットの操作を行うことでもハードディスクを使用可能にすることができます。操作方法については、「プリントを中止したいときは」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。

8 電源がオフになって数秒以上待ってから、電源スイッチの“ I ”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00　LIPS」と表示され、ハードディスクが使用可能になります。

メモ
- オプションのハードディスクは、フォーマット済みです。
- ハードディスクが読み書きできないときは、ユーティリティメニューでフォーマットしなおしてください。また、電源をオンにした後の自己診断でハードディスクエラーが発生した場合は、自動的にフォーマットされます。

ハードディスクの取り外しかた

ハードディスクの取り外しは、次の手順で行います。ハードディスクの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

重要 • ハードディスクを取り外すときは、必ず電源をオフにし、電源コードとインタフェースケーブルを取り外してから作業してください。取り外さないまま作業すると、装置が故障する恐れがあります。

1 **操作パネルでハードディスクの設定を「ツカワナイ」に変更します。**

（→ハードディスクの設定：P.3-30）

2 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

3 **プリンタ背面のネジを取り外し、拡張ボードスロットカバーを取り外します。**

重要 • 指示以外のネジは取り外さないでください。

4 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

5 **プリンタ背面の2本のネジを取り外し、スロットカバーを取り外します。**

重要 • スロットカバーを落下させないように手で支えながら作業してください。

6 **ハードディスクとメインボードからコネクタケーブルを取り外します。**

7 **2本のネジを外して、ハードディスクを取り外します。**

取り外したハードディスクは、取り付け時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

注意 • **ハードディスク上の部品でけがをしないように、注意してください。**

重要 • ハードディスクの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

8 **ネジで拡張ボードスロットの保護板を取り付けます。**

9 **2本のネジでスロットカバーを取り付けます。**

10 **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り付けます。**

11 **ネジで拡張ボードスロットカバーを固定します。**

重要
- 拡張ボードスロットカバーを取り外したまま使用しないでください。

12 **アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

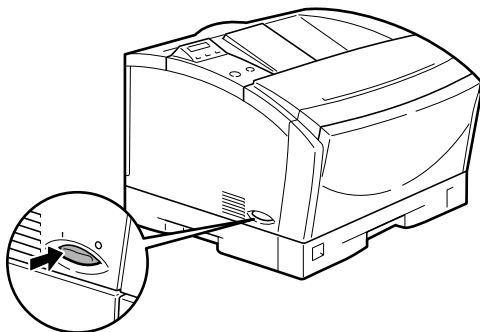
プリンタの動作と機能を確認する

ここでは、プリンタが正常に動作することを確認する操作について説明しています。

動作を確認する

本プリンタは、最良の印字品質を維持するため、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終わった後やプリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

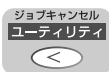
プリンタの動作を確認する

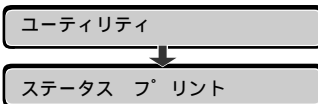
ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

1 電源スイッチの"I"側を押してプリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

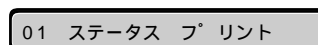
重要
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」(→ユーザーズガイド)をご覧ください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

2 [オンライン]を押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

3 ［ユーティリティ］を押します。

ユーティリティメニューの項目が表示されます。

4 ［∨］を押します。

ステータス　プ゜リント　→

ディスプレイに「01　ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントを開始します。

01　ステータス　プ゜リント

5 ステータスプリントが終わったら、電源スイッチの“ ○ ”側を押して電源をオフにします。

ステータスプリントのプリント内容

ステータスプリントを行うと、下図のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。以下のステータスプリントは、LBP-1710 の例です。

Canon STATUS PRINT LASER SHOT LBP-1710

バージョン : R1.03/OGO0L06I
サブバージョン : 15.00/2EI-4112-C410-66.7-133/34/00
エンジンバージョン : OGO/001c
フォントバージョン : 20000802

全体メモリ搭載状況 : 8 (8 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 347 Kbytes
動作モード : LIPS
給紙モード : 自動

拡張機能グループ
コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
スリープ モード : 15分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語

給紙グループ
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択／トレイ : 使う
自動選択／カセット１ : 使う
自動選択／カセット２ : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称／トレイ :
用紙名称／カセット１ :
用紙名称／カセット２ :

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP
コネクション認識 : する

レイアウトグループ
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
中間調選択 : パターン１
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動
階調処理 : 標準

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1710
Description : Canon LASER SHOT LBP-1710
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS Ver.01.23 LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

拡張ＲＯＭ情報
RESIDENT 19990518 Copyright CANON INC. 1999 All Rights Reserved.

標準ネットワーク
ボード名称 : Canon
ベンダーID : CANON INC.
バージョン : 0.12
ベンダーインフォ : MAC Address: 00008511200D

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2608
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0001087

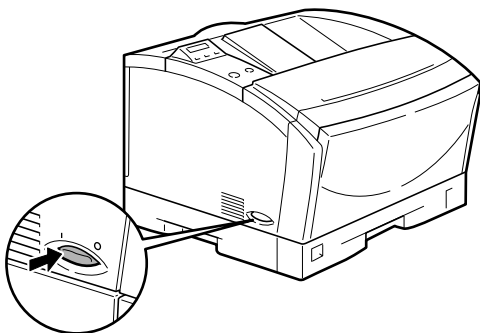
プリントサーバの動作を確認する

LBP-1710 をネットワークに接続している場合は、プリントサーバのランプで動作状態を確認することができます。正しく動作していない場合は、プリントサーバのディップスイッチをネットワークに合わせて設定してください。

拡張ボードスロットカバーの取り付け、取り外しには、プラスドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

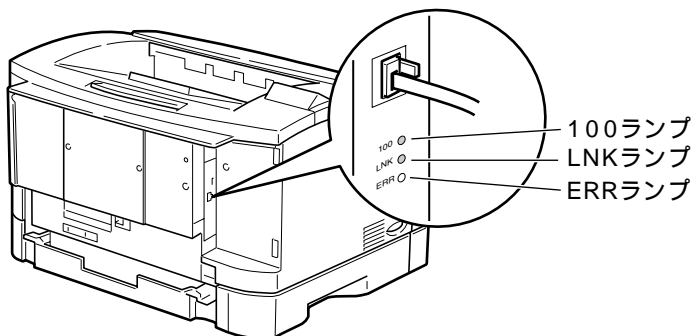
---

1 プリンタ背面のネジを取り外し、拡張ボードスロットカバーを取り外します。

2 電源スイッチの "I" 側を押してプリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　LIPS」と表示され、プリント可能な状態になります。

重要

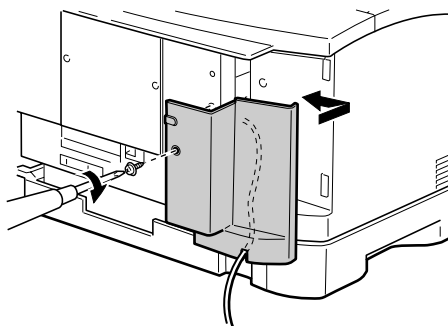
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」(→ユーザーズガイド) をご覧ください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が 1 枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

3 プリントサーバのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば、正常です。

100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば、正常です。

正常に動作していない場合は、LAN ケーブルやハブの接続状態を確認してください。他の機器がすべて正常に動作している場合は、プリンタの電源をオフにし、プリントサーバのディップスイッチを接続したLANに合わせて変更してください。（→ P.4-7）

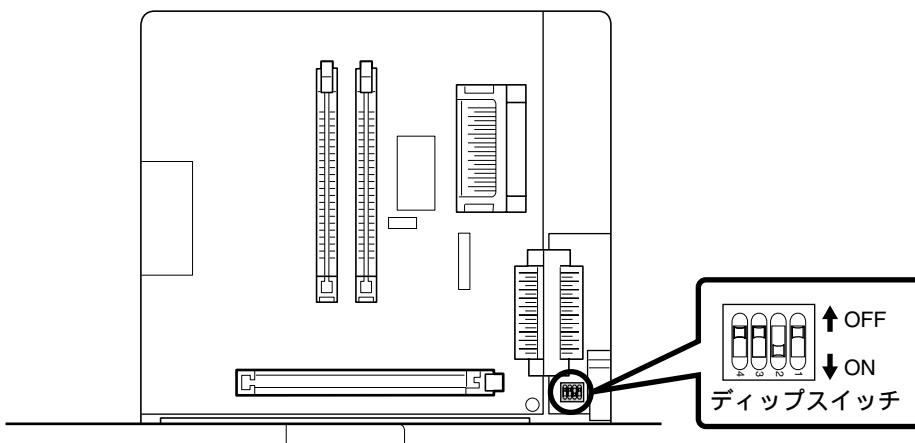
4 プリントサーバの動作が確認できたら、電源スイッチの“ ○ ”側を押して、電源をオフにします。

5 LANケーブルを拡張ボードスロットカバーの溝に通し、ネジで拡張ボードスロットカバーを固定します。

プリントサーバの設定

本プリンタに内蔵のプリントサーバは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE/100BASE の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、プリントサーバ上のディップスイッチを設定してください。

ディップスイッチは、プリンタの電源をオフにしてからプリンタ背面の拡張ボードスロットカバーを取り外して設定します。接続したネットワークに合わせて、ディップスイッチをボールペンなどの先で下表のように設定してください。

重要
- ディップスイッチの設定をする際は、ボールペンなどの先でプリントサーバやメインボードを傷つけないように注意してください。また、シャープペンシルなど先端の鋭利なものは使用しないでください。

メモ
- 拡張ボードスロットカバーの取り外しかたについては、「プリントサーバの取り付けかた」（→P.3-19）をご覧ください。

LANの通信速度/転送モード	ディップスイッチの設定
10BASE-T/半二重モード に固定する場合	
10BASE-T/全二重モード に固定する場合	
100BASE-TX/半二重モード に固定する場合	
100BASE-TX/全二重モード に固定する場合	

付録

5
CHAPTER

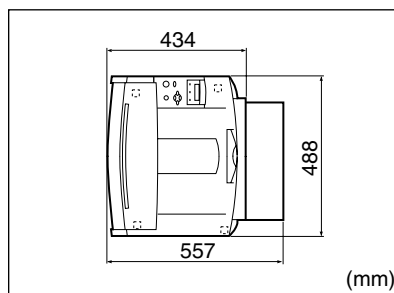
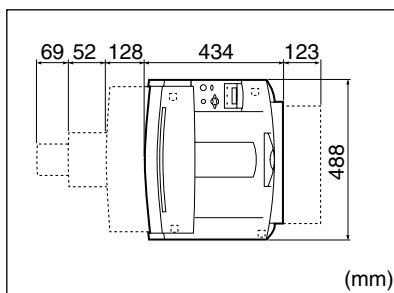
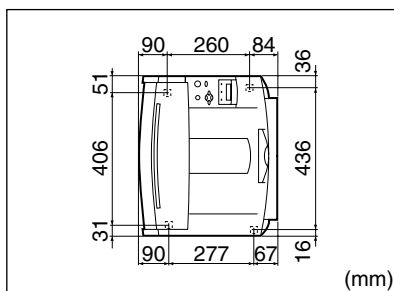
ここでは、本プリンタ各部の寸法や本書の索引、アフターサービスについてまとめています。

各部の寸法

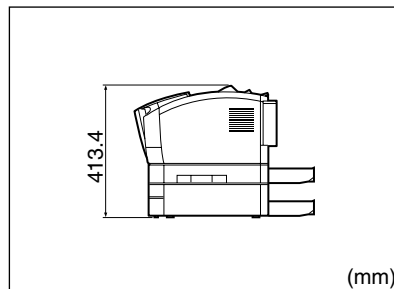
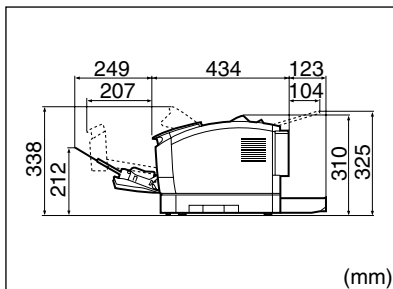
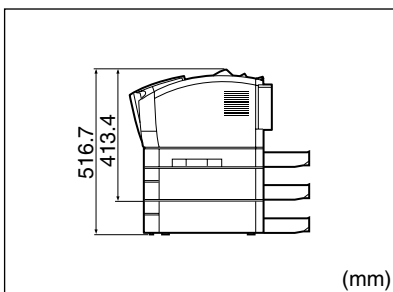
プリンタ本体

上面図

- 標準仕様（給紙カセット横送り状態）

- 標準仕様（給紙カセット縦送り状態）

- 足の位置

側面図

• 標準仕様（給紙カセット縦送り状態）

• 250枚カセット×２段仕様

• 250枚カセット×3段仕様

• 250枚カセット×４段仕様

ペーパーフィーダ

上面図

側面図

5
付録

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

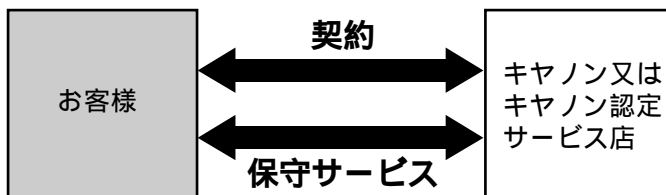
や

保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはキヤノン事務機をご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくキヤノン製品の無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。

キヤノンの保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

内　　容	メリット
●定期点検の実施 キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。 （製品により定期点検回数が異なります。また、一部定期点検を設けていない製品もあります。）	トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。
●優先サービス 万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。	トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。
●保守契約料金は一定 保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。	サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。
●修理料金は無料 保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。	契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。 （但し、機種により一部特定部品は有償。天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）
●スポット料金より割安 トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。	スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

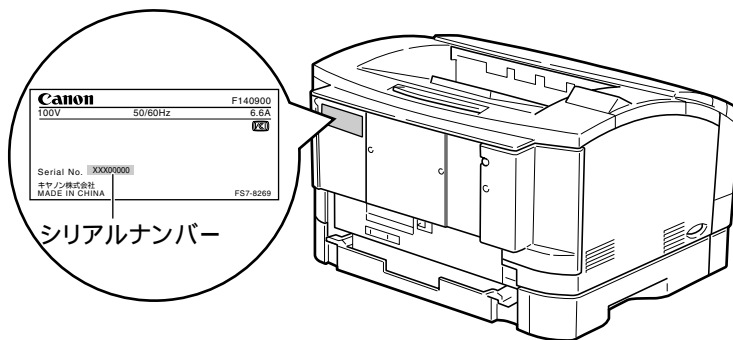
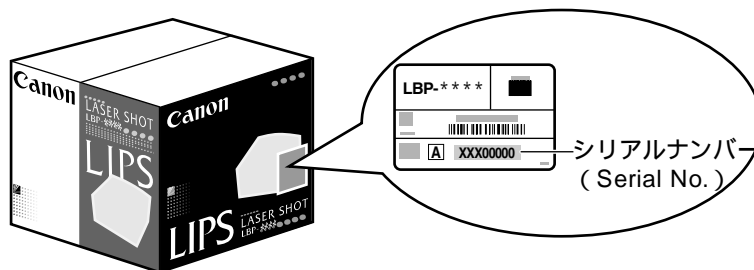
無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 6 ヶ月です。
- 定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要
- シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

■ 梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノン販売ホームページ (http://www.canon-sales.co.jp/)
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

■ キヤノンＦＡＸ情報サービス
札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730
東京（03）3455-5962　名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011
広島（082）240-6729　高松（087）826-1621　福岡（092）411-9510
音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

■ @nifty キヤノンステーション (http://www.nifty.com)
@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」と入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASERSHOT】インフォメーション」内に掲載されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ インターネット：キヤノン販売ホームページ (http://www.canon-sales.co.jp/)
キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。
キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

■ **@nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com)**

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」と入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。NIFTY-Serveの通信料金のみでダウンロードすることができます。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ **CD-ROM・FDの郵送サービス**

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はFAX情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418

口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

・「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
・「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
・お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
・お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
・ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDが異なります。

本書は、本文に
100%の再生紙を使用しています。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット **0570-01-9000**

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。LASER SHOTの該当番号は 42 *1です。

全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、(043) 211-9627をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2は以下のとおりです。
月曜～金曜(祝日を除く):9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日(1/1～1/3は休み):10:00～12:00、13:00～17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PUB. R-IJ-890AA　012001SZXX　　PRINTED IN JAPAN